

SmartWorks MFP5

取扱説明書



目次

コントローラーについて	6
概要	6
ドングルの機能（ハードウェア、ソフトウェアライセンス）について	6
ホーム画面と基本操作	7
タイムアウトのリセット	9
コントローラーの環境設定	11
使用する言語、単位、ホーム画面の設定	11
デフォルトスキャンフォルダーの設定	13
スキャナーの検知	15
スキャナーの情報とオプション	15
プリンター設定	16
プリンターの情報と出力用紙設定（折り設定含む）	20
プリンターメンテナンス	21
開始アイコンが水色の時に確認すること	23
コントローラーの操作	24
ホーム画面 一時的にプリセットを変更する	24
クイックコピー、クイックスキャン、クイックコピー&アーカイブ（プレビューなし）	25
クイックコピー、クイックスキャン、クイックコピー&アーカイブ（プレビューあり）	27
プレビューして画像の編集、プリント出力する	30
プレビュー画面での編集	32
プレビュー：画像編集（シンプル）	34
ファイル設定（スキャン/編集）	34
プリント設定（コピー/プリント）	34
折り	35
切抜き	35
画像の回転	36
ミラー	36
明るさとコントラスト	37
プレビュー：画像編集（アドバンス）	37
傾き補正	37
レンダリングインテント	40
白黒ポイント	40
黒ポイント	41

白ポイント	41
シャープネス	42
色の変更	43
色の反転	43
シンプルしきい値(白黒モード)	44
最適化しきい値(白黒モード)	45
新しいプリセットを保存する.....	45
連続モード(プレビューなし)	46
連続モード(プレビューあり)	47
スキャン to マルチページ PDF (プレビューあり)	48
ソートの設定.....	49
コピー：その他のオプション	52
スキャン：その他のオプション.....	59
コピー & アーカイブ：その他のオプション	66
プリント：その他のオプション	75
ヘルプ	78
設定	79
プリンターの設定：使用するプリンターを選択する.....	80
スキャナーオプション	82
スキャナーのキャリブレーション	82
オートステッチ	85
プログラム環境設定	87
ホーム画面 表示される機能アイコン.....	87
表示される用紙サイズ画面	87
プレビュー	87
作業終了時に PC を閉じる.....	87
連続モード	87
カスタマイズ	88
ソフトウェアリセットタイム.....	89
言語	90
長さの単位.....	90
ホームページ	90
プリセット	91
プリセット：デフォルト / 表示 / コピー / 編集	94

デフォルト :.....	95
表示 :.....	95
ユーザー / 汎用 :.....	95
お気に入りプリセット :.....	95
プリセットのコピー(新規プリセットの作成).....	95
プリセットの削除 :.....	96
プリセットの編集 :.....	96
プリセット : 新しいプリセットを保存する	99
設定画面から :.....	99
プレビューの画面から :.....	100
ユーザーアカウント	101
管理者.....	101
パワーユーザー	102
ユーザー.....	103
ユーザーアカウントの作成	106
ログインの詳細.....	107
ユーザーレベル設定オプション	109
カウンター確認.....	110
管理者プログラム設定.....	111
Eメール.....	111
プリンターステータス.....	112
ネットワークモード.....	113
スキャン to フォルダー	114
スキャナーをより効果的にお使いいただくために.....	115
画像の端が切り取られるのを防ぐ方法	115
原稿サイズと原稿向きのオプション	116
トラブルシューティング	118
操作に関するよくある質問	118
スキャン開始のボタンを押しても、USB メモリーにスキャンデータが入らない	118
コピー開始のボタンを押してもコピーできない	118
スキャン中、原稿がスムーズに搬送されず、途中で止まったりする.....	118
ヘルプが英語で表示される	118
スキャナーの自動サイズが正しく機能しない.....	118
SmartWorks MFP がスキャナーに接続できない	118

ネットワークエラー	119
SmartWorks MFP とプリンターとの通信障害	119
SmartWorks MFP がフリーズする	119
仕様	120
用語集	121

コントローラーについて

概要

コントローラー画面にはタッチスクリーンを採用しています。

機能:

コピー、スキャン、プリント、編集、コピー&アーカイブ

「スキャンワンス機能」を採用し、画像のプレビューや編集などの一連の作業をスムーズに行えるワークフローをサポートします。「スキャンワンス機能」は一度スキャンした後、プレビュー画面でスキャン画像に様々な編集をリアルタイムに行うことができ、編集した画像を即プリント出力、またはファイル保存することができます。設定を変更して何度もスキャンし直す必要がない為、搬送によって傷つきやすいデリケートな原稿のスキャンにも適しています。



dongルの機能 (ハードウェア、ソフトウェアライセンス)について



dongルが付属する商品: (※海外仕様品で国内の取扱はございません)

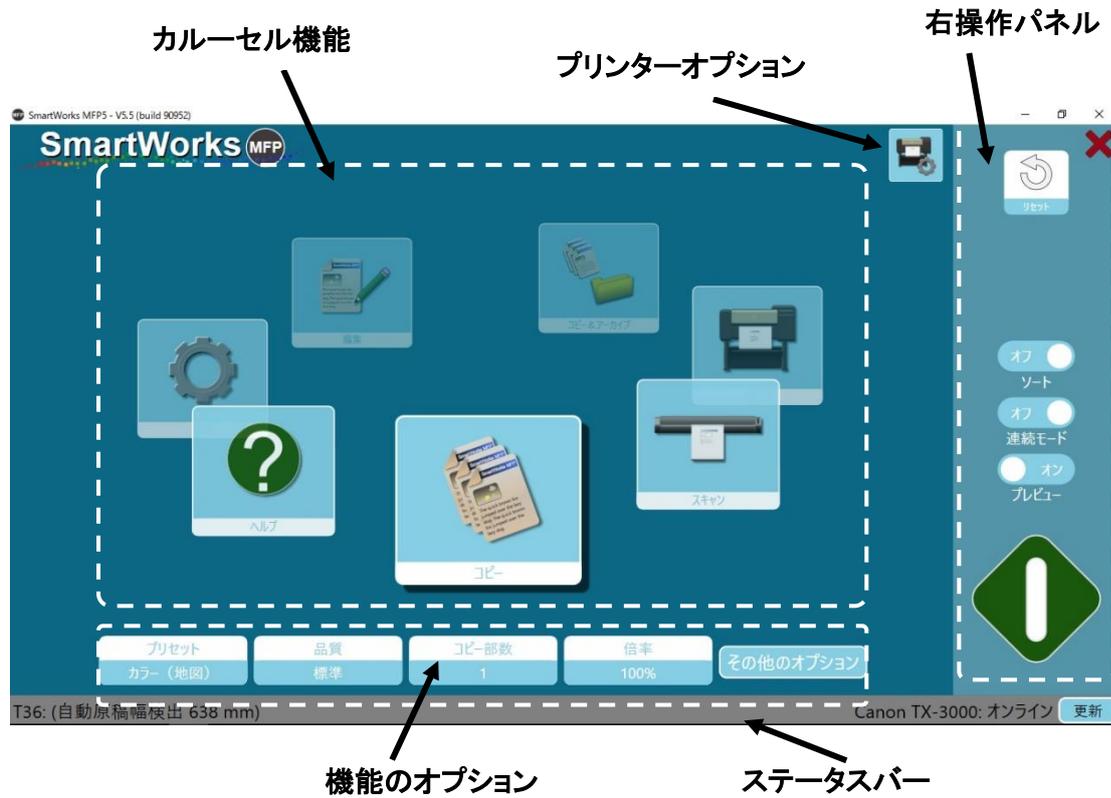
- コントローラーの USB ポートにdongルを差し込んでください。
- SC Xpress スキャナーのみサポートします。
- Océ ColorWave と PlotWave プリンター (折り含む) をサポートします。
- ソフトウェアはプリンターが検知されなくても起動し、使用できます。

dongルが付属しない製品:

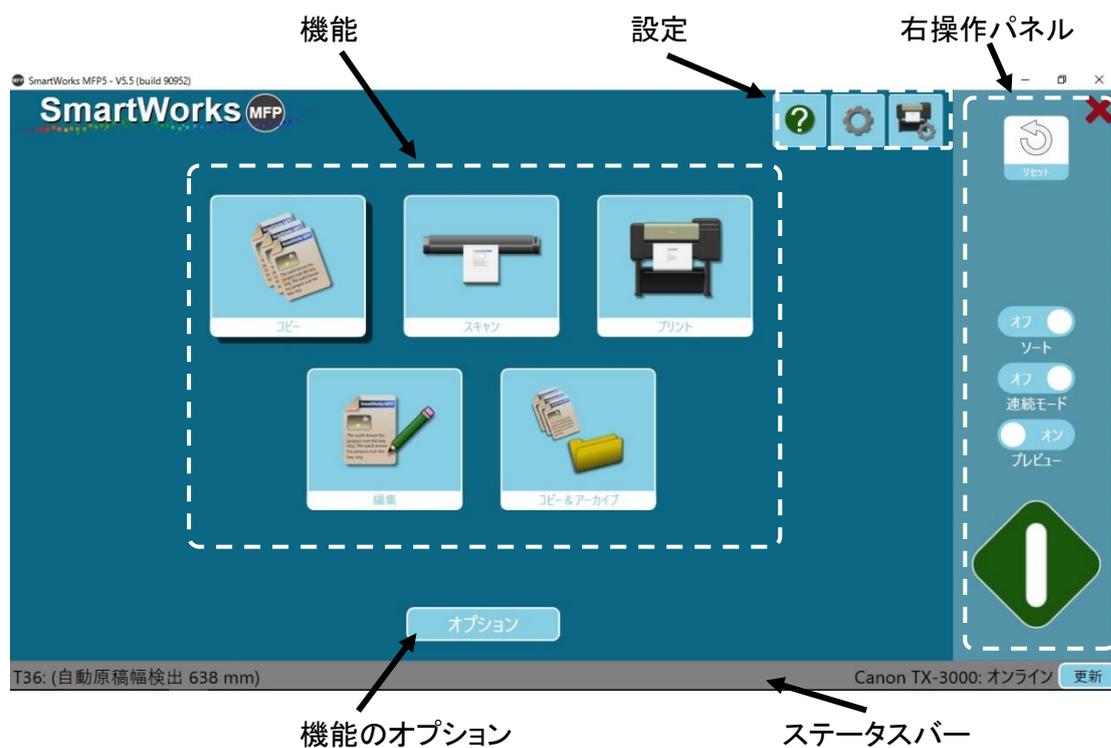
- TX-MFP シリーズ用ソフトウェアはdongル非同梱です。
- T シリーズスキャナーのみサポートします。
- キヤノンの TX シリーズプリンターをサポートします。
- プリンターが検知されないとソフトウェアの動作が制限されます。

ホーム画面と基本操作

ホーム画面：カルーセル



ホーム画面：標準



ホーム画面はカーセル(スライダー方式)、または標準の画面のいずれかを選択できます。ホーム画面は「設定」-「プログラム環境設定」で設定できます。(カーセル画面がデフォルト設定されています)

カーセルのホーム画面では中央、最前にあるアイコンが現在選択されている機能です。アイコンをタップ、またはスワイプして機能を選択します。標準のホーム画面はアイコンの後ろに影があるアイコンが現在選択されている機能です。機能が選択されるとその下に設定項目が表示されます。

機能が選択されると画面右側にその機能を実行するボタンが表示されます。

例：プレビュー：オン/オフ、バッチ(連続)モード：オン/オフ

ホーム画面右上にはリセットアイコンがあります。このアイコンをタップすると電源投入時の初期設定に戻ります。

ホーム画面右上の **X** をタップするとソフトウェアのみを閉じるか、またはソフトウェアを閉じた後にコントローラの電源を終了します。(「システム環境設定」でソフトウェアの終了方法を設定できます)

画面の下、左にはスキャナー、右にはプリンターの現在の情報が表示されています。スキャナー、またはプリンターの詳細情報が表示されます。ホーム画面の右上に表示されるプリンターのアイコンをタップするとプリンターのオプションを選択することができます。

選択された機能によって異なる設定項目がアイコンの下に表示されます。さらに詳細な設定を行うには「その他のオプション」をタップします。

画面によってはアイコンの数が多く、数ページに表示される場合があります。画面下中央の「○」は何ページあるかを示しています。現在のページは白い丸で表示されます。直接「○」をタップするとそのページに画面が切り替わります。



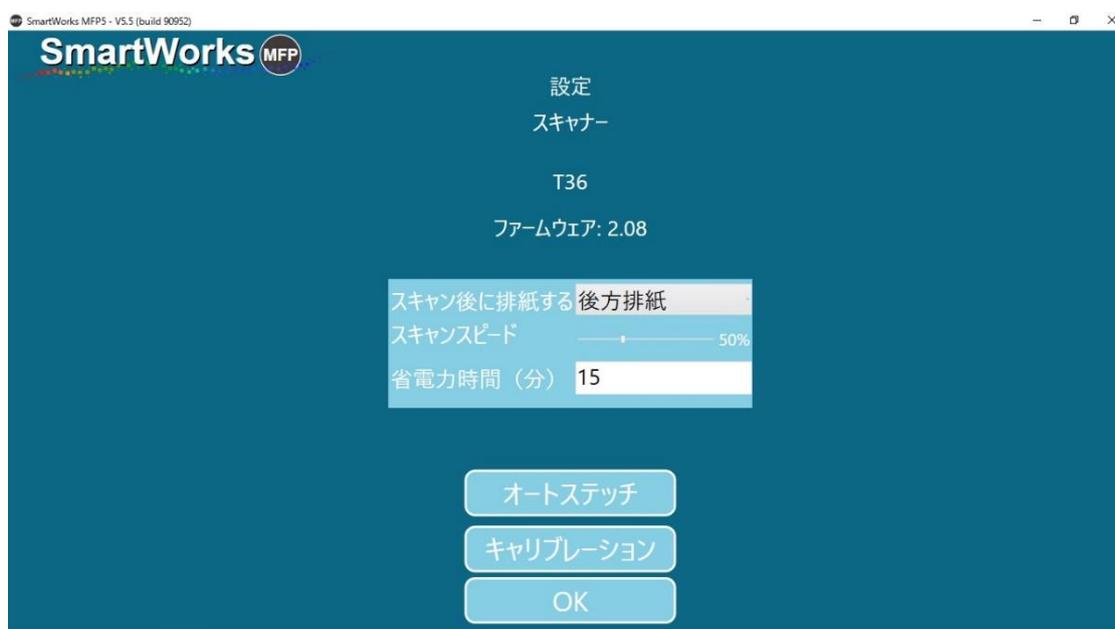
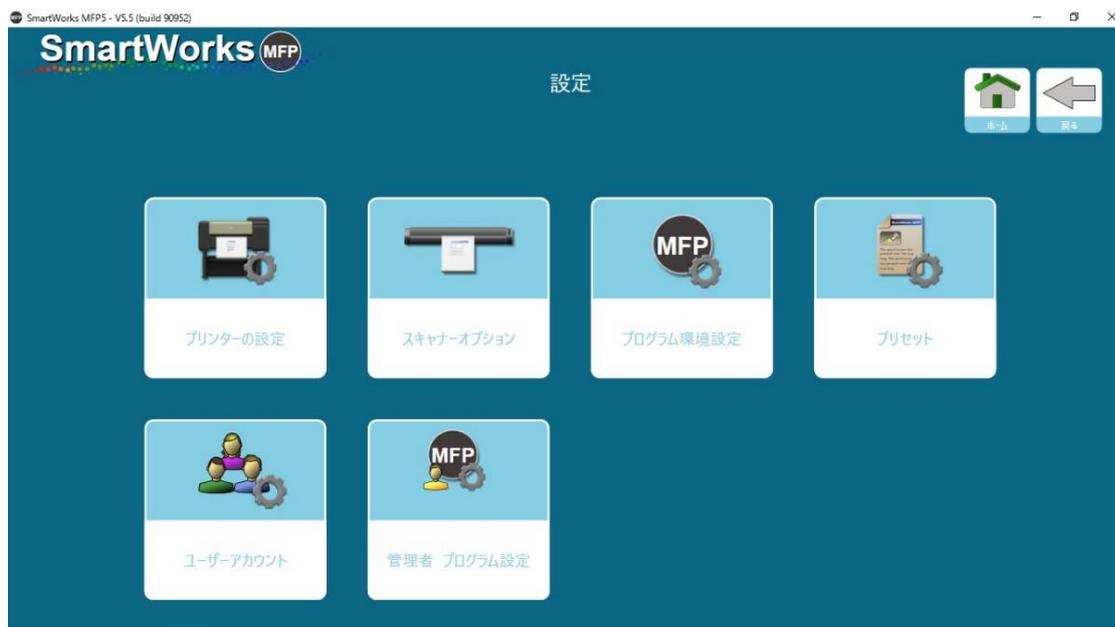
画面右上には「ホーム画面に戻る」アイコンと「前のページに戻る」矢印があります。また「OK」をタップすることで前のページに戻る画面もあります。



ホーム : ホーム画面に戻ります。



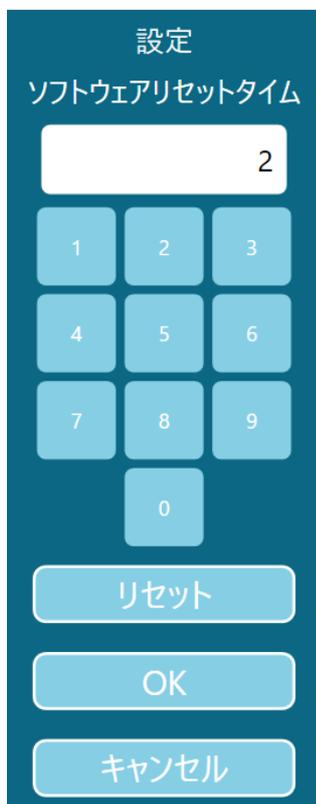
戻る : 前のページに戻ります。



タイムアウトのリセット

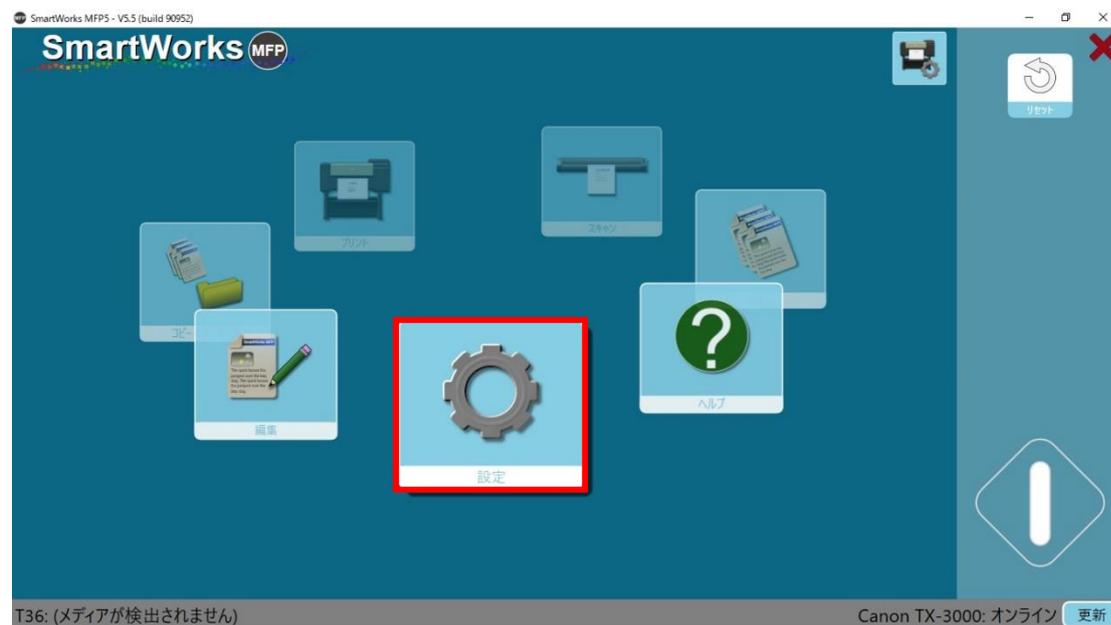
2 分間ソフトウェアが使用されない場合、自動的にホーム画面に戻り、電源投入時の初期設定にリセットされます。ユーザーアカウントでログインしている場合、現在のユーザー画面をログアウトし、ログオン画面に戻ります。

タイムアウトの時間は「システム環境設定」の「ソフトウェアリセットタイム」で設定することができます。



コントローラーの環境設定

使用する言語、単位、ホーム画面の設定
 ホーム画面で「設定」のアイコンをタップします。



「プログラム環境設定」をタップします。



「プログラム環境設定」の 2 ページ目に進みます。



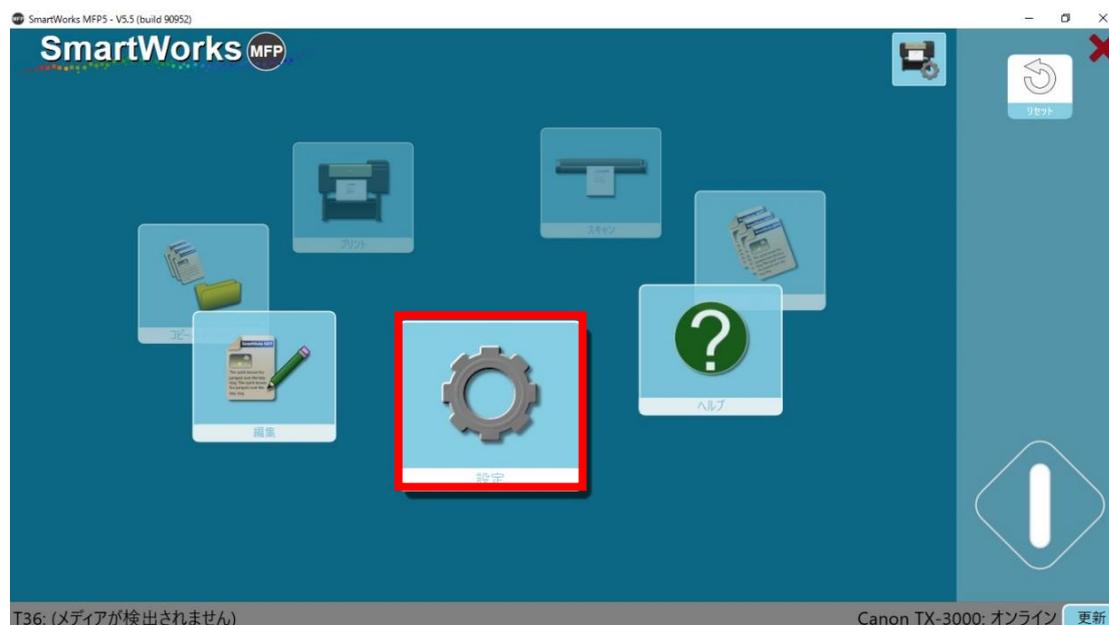
単位を選択します。デフォルトでは「mm」に設定されています。
 ホーム画面を選択します。(カラーセル画面がデフォルト設定されています)
 使用する言語を選択します。



デフォルトスキャンフォルダーの設定

スキャンした画像ファイルは、工場出荷時は Cドライブ直下の「Scan」フォルダー、再インストール等でソフトウェアの設定がリセットされた場合はログインユーザーの「ピクチャ」フォルダーに保存されます。変更したい場合は下記の設定を実施します。

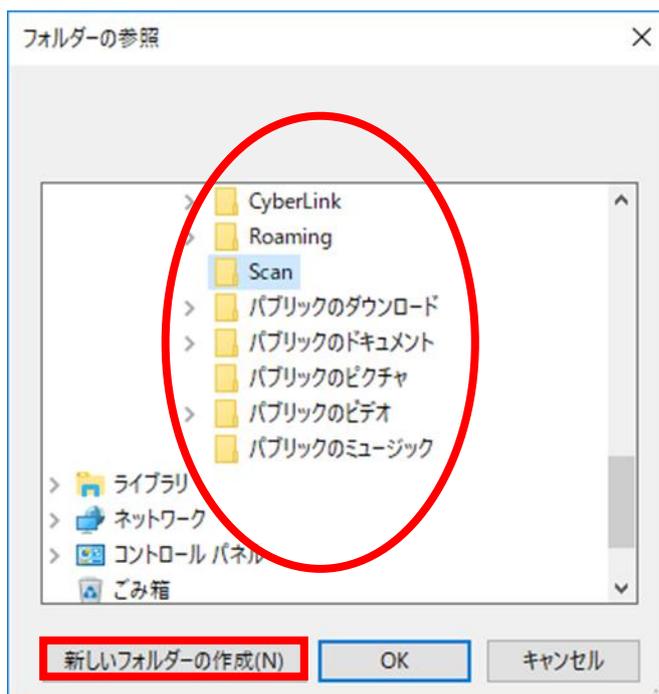
ホーム画面で「設定」を選択します。



「管理者プログラム設定」を選択します。



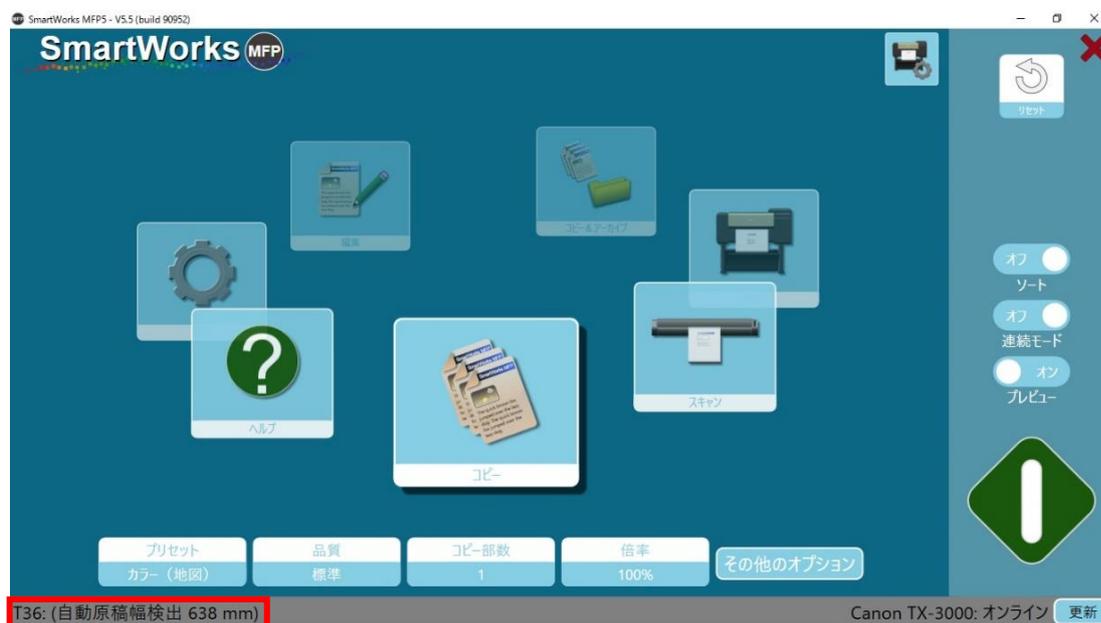
スキャン to フォルダー(デフォルト)を選択します。



任意の階層を選択し、「フォルダーを新規作成」ボタンをタップし、フォルダーを作成します。保存先として選択します。

スキャナーの検知

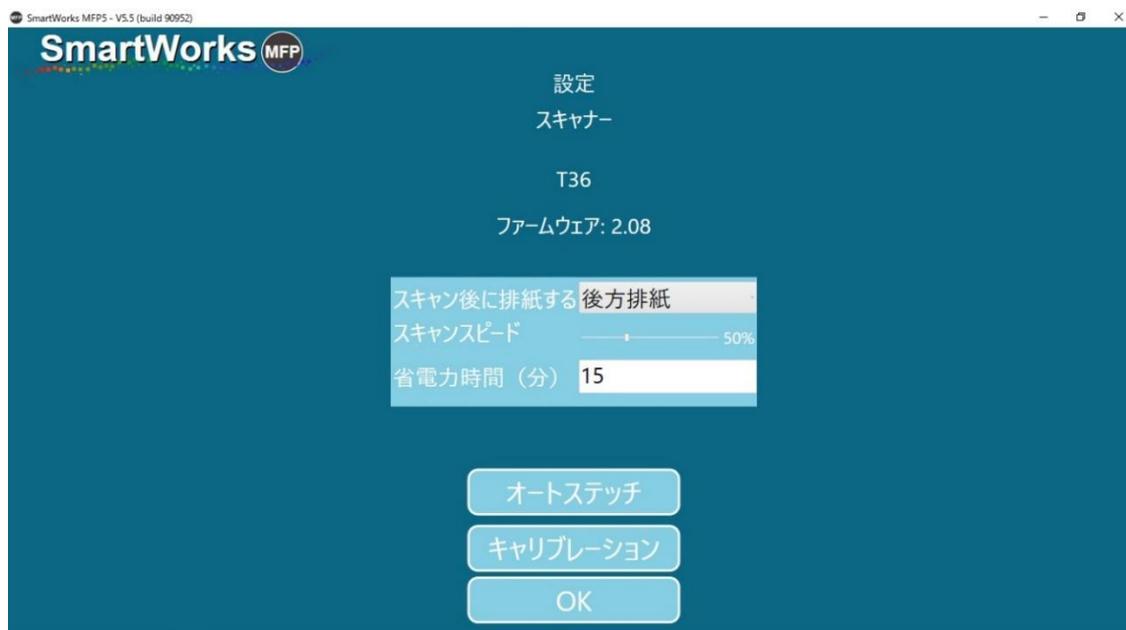
スキャナーの電源が入っていてコントローラーに接続されている場合、ソフトウェアはスキャナーを検知し、画面下の左端にスキャナーのモデルを表示します。



スキャナーの情報とオプション

スキャナーの情報がホーム画面の左下(上図の赤枠部分)に表示されます。スキャナーオプションは設定の中に配置されています。スキャナーの設定、オートステッチ、キャリブレーションの操作を行えます。





スキャン完了後に原稿をスキャナー後方から排紙、または前方に巻き戻すかの選択ができます。
 (「連続モード」を選択すると自動で「後方排紙」が設定されます。)

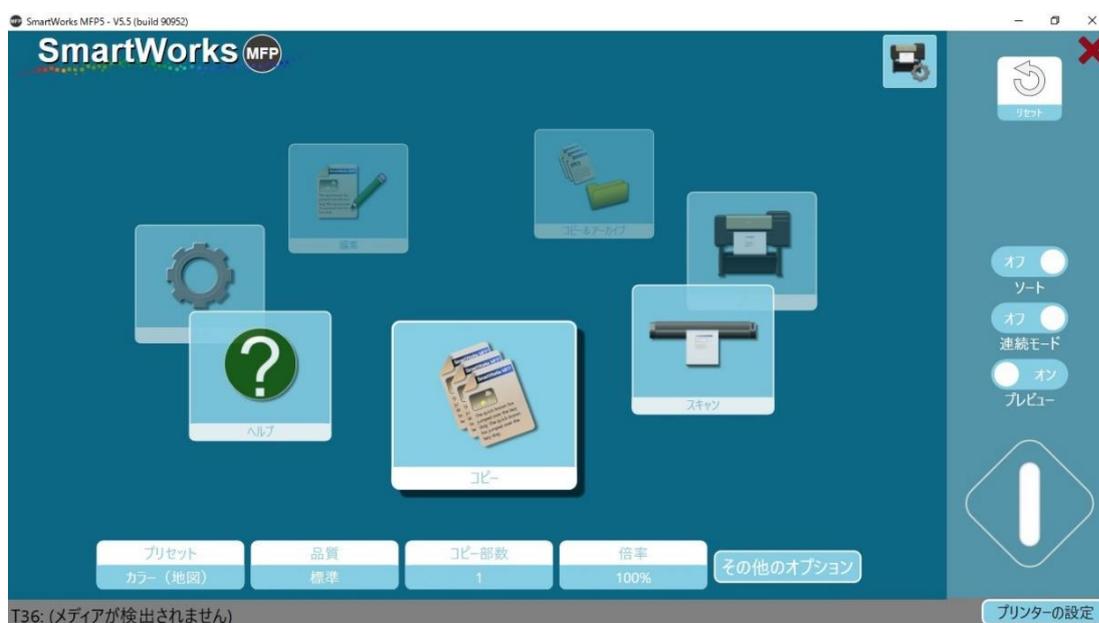
スキャンスピードは次のように設定することができます。

※100% = フルスピード、50% = ハーフスピード、33% = 1/3 のスピード、25 = 1/4 のスピード
 デリケートな原稿をスキャンする時、またはスキャンが滞ったり、止まったりする場合は遅めのスピード設定でスキャンすることをお勧めします。 デフォルトは 50% に設定されています。

「省電力時間(分)」はスキャナーに動作がなく、スキャナーがスリープモードに移行するまでの時間を示します。デフォルトでは 15 分と設定されています。最長 60 分まで設定できます。

プリンター設定

初めて起動した時、「プリンターが検知されません」というメッセージが画面右下に「プリンター設定」ボタンと共に表示されます。



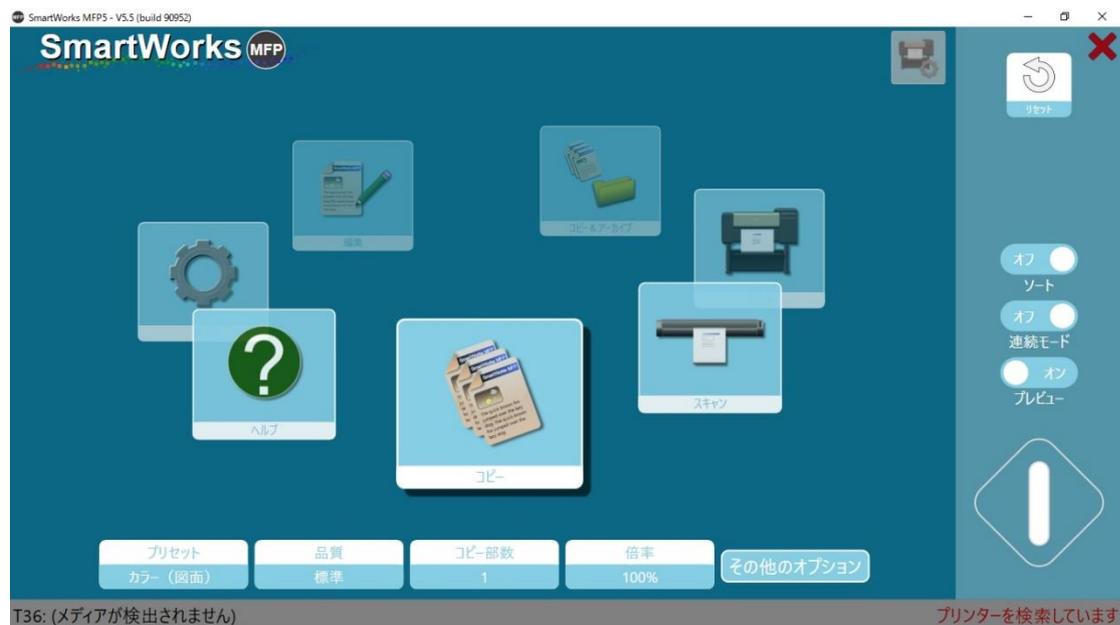
「プリンターの設定」ボタンをタップするとインストール済みのプリンタードライバーのリストが表示されます。



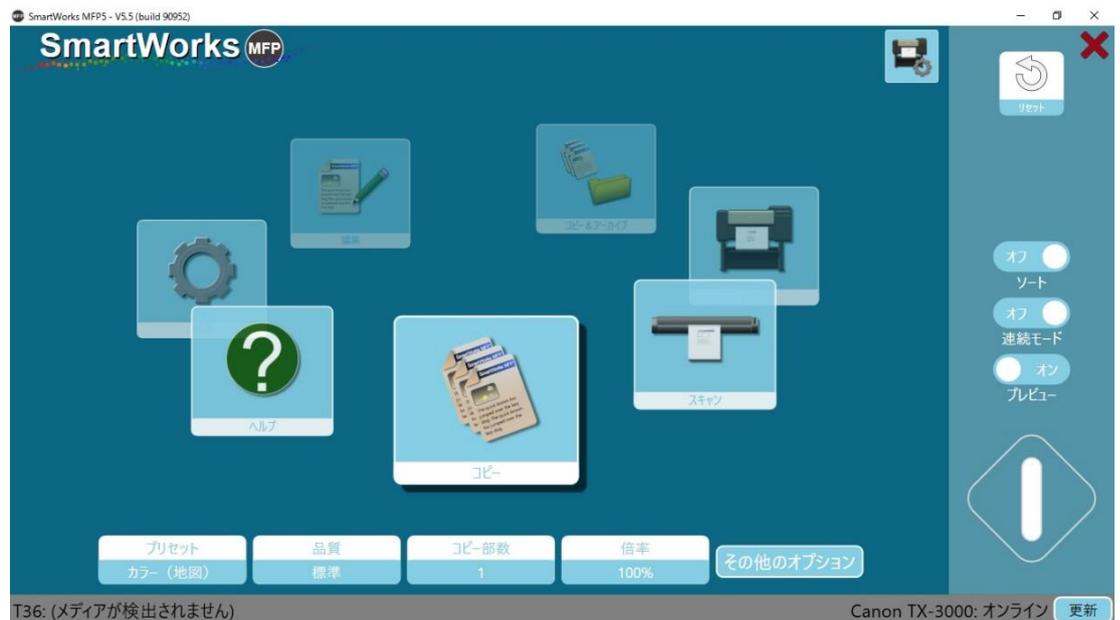
インストールされている Windows プリンターの中からプリンターを選択し、「OK」をタップします。



ソフトウェアがプリンターを検索し、交信します。プリンターはオンラインであることを確認して下さい。



プリンターが検出されるとプリンター名が表示されます。



Océ プリンターを折り機とお使いの場合、フォルダーのステータスも表示されます。
 (海外仕様品)



プリンターの情報と出力用紙設定(折り設定含む)

※折り設定については、海外製品向けの機能です。

プリンターの設定が完了するとプリンターの情報が画面の右下に表示されます。「プリンターの設定」をタップするとプリンターのモデル、ポート、セットされているメディアの種類が確認できます。

※[更新]ボタンが表示されている場合はボタンをクリックするとプリンターの情報が更新されます。

プリンターのモデルによってはインクやカートリッジのメンテナンスレベルなどの追加の設定項目が表示されます。プリンターに関する警告がある場合、(例:インクが少ないなど)プリンター設定ボタンに赤の感嘆符が表示されます。



インストール時、SmartWorks MFP がプリンターに搭載されているメディアの種類のリストをプリンターの設定に取り込み、プリンターの設定時にそのリストが表示されます。プリンターの UI を通し、別のメディアやカスタムメディアが追加された場合、「メディアの情報取得」をタップし、SmartWorks MFP にメディアの種類を追加登録します。

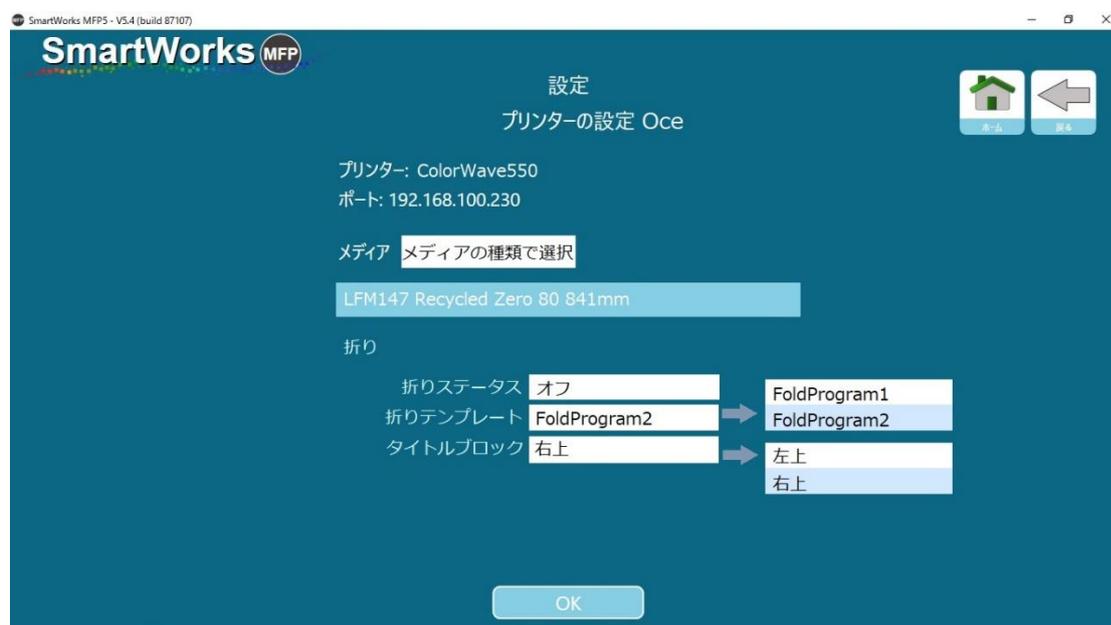


ロールユニットを搭載し、2段ロール給紙に対応したプリンターの場合、「メディア」で用紙の選択方法を決め、セットされている用紙情報の選択と組み合わせ、コピーやプリントに使用する用紙を指定します。デフォルトでは上段ロール紙が選択されます。

例:

- ロール紙
 - ロール 1 プレミアム普通紙 841 mm、ロール 2 プレミアム普通紙 594 mm
 - 「**ロールで選択**」で選択したロール紙(上段・下段)が優先されます。
- メディアの種類
 - ロール 1 普通紙 841 mm、ロール 2 コート紙 594 mm
 - 「**メディアの種類で選択**」で普通紙やコート紙の用紙種類の情報が優先されます。
 ※上下段ともに同一用紙種の場合は原稿サイズにより給紙が自動で切り替わりません。

折りに対応しているプリンターの場合、スキャナーに原稿を挿入しながら折りステータス、折りテンプレート(プリンター設定)またはオリジナルの原稿のタイトルブロックの位置を選択することができます。(海外仕様品)



プリンターメンテナンス

プリンターのクリーニングやプリンターのテストプリントをプリントすることができます。





その他のセットアップ

詳細な設定を行う場合は、[「設定」](#)を参照して下さい。

開始アイコンが水色の時に確認すること

開始アイコンが水色の時は、その画面の操作ができないことを示しています。下記の内容を確認してください。

スキャン

スキャナーに原稿が搭載されて電源がオンになっている。プリンターがオンラインになっている。

注記：ドングルを挿入して SmartLF スキャナーを使用している場合、プリンターは必要とされません。

コピー、コピー&アーカイブ

スキャナーの電源がオンになっている。

プリンターは電源が入っており印刷可能な状態にある。

画面右下プリンター情報に[更新]ボタンがある場合は、ボタンをタップして情報を更新でき、オンラインになっている。(ドングルが使用されている場合、プリンター無しでもスキャン操作可能です)

プリント

ファイルが選択されている。

プリンターの電源が入っており印刷可能な状態にある。

画面右下プリンター情報に[更新]ボタンがある場合は、ボタンをタップして情報を更新でき、オンラインになっている。

プリンターのパネルでロール紙、カット紙いずれかのアイコンが印刷準備(白色)表示になっている。

編集

ファイルが選択されている。

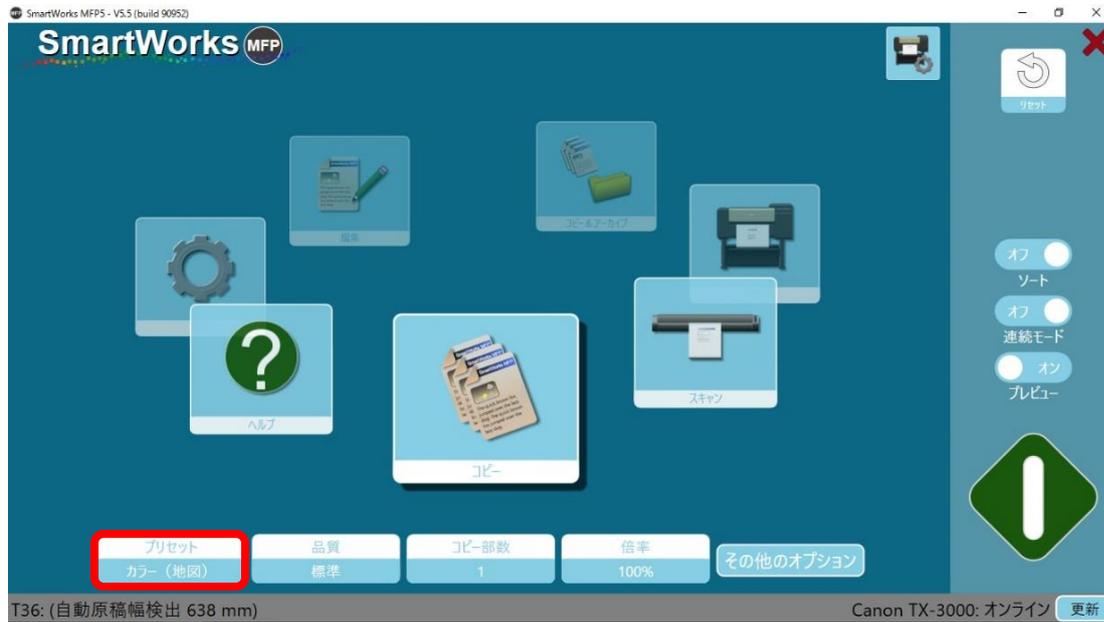
スキャナーやプリンターは必ずしも接続されている必要はありません。

デモモード

プリンターの電源が入っていない、または LAN 未接続等でプリンターが検出されない場合、ドングルが接続されていない場合は、デモモードに切り替わります。すべてのページにアクセスできますが「コピー」、「スキャン」、「プリント」、「コピー&アーカイブ」を開始する開始アイコンが緑の実行可能状態になりません。「編集」を選択した場合、プレビュー画面で編集の作業が行えます。

コントローラーの操作

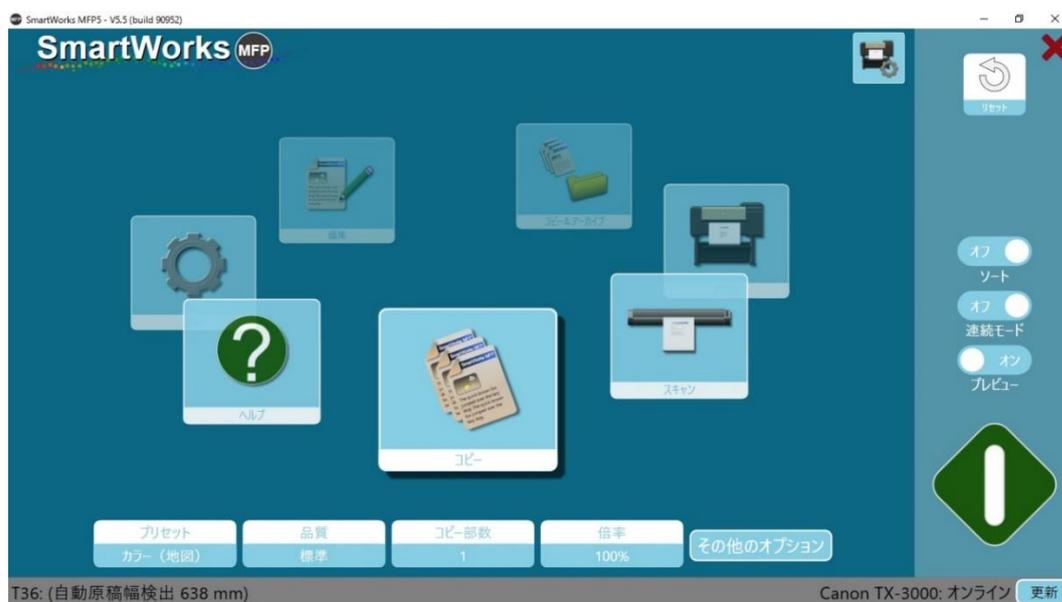
ホーム画面 一時的にプリセットを変更する



プリセット名の右上に“*”がある場合、そのプリセットは一時的に編集され、登録されているプリセットとは異なる設定がされていることを示します。

クイックコピー、クイックスキャン、クイックコピー & アーカイブ (プレビューなし)

1. スキャナーの中央部にスキャンする面を上にして原稿を挿入します。原稿サイズがソフト画面の左下に表示されます。
2. カラーセル、または標準ホーム画面から「コピー」、「スキャン」、または「スキャン & アーカイブ」のいずれかを選択します。



3. スキャン画像の保存先 : コントローラーのフォルダー または USB
 スキャンした画像はコントローラーのフォルダーに保存されるようにデフォルト設定されています。コントローラーに USB メモリーが差し込まれると自動的に「スキャン to USB」のアイコンに切り替わります。

4. コントローラーから USB メモリーを取り外すときは「USB を取り外す」というアイコンをタップしてから取り外してください。USB メモリーに正しくデータが転送されて安全に取り外すことができます。



5. 「連続モード」と「プレビュー」をオフにして緑の開始アイコンをタップします。

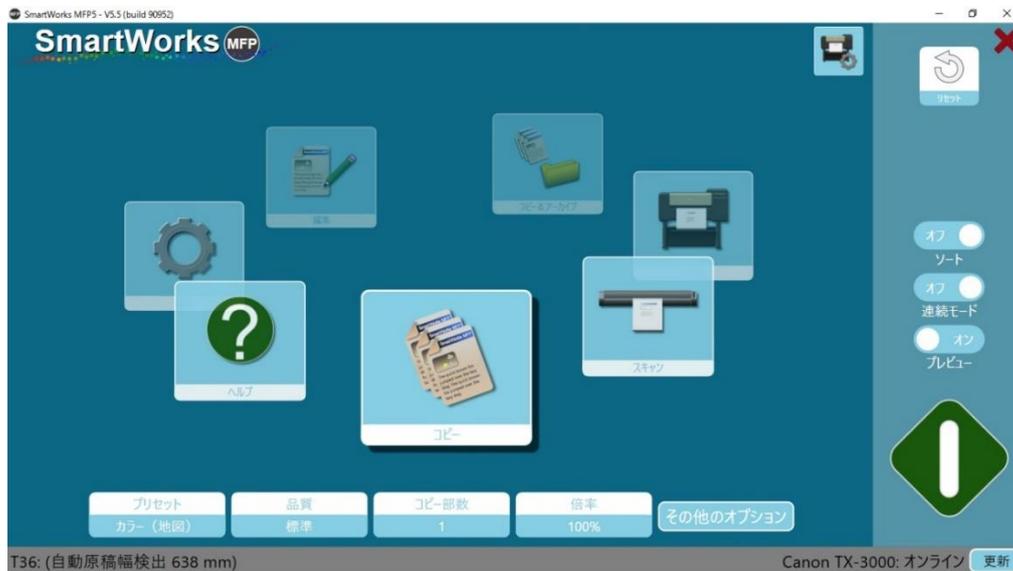


6. 赤のアイコンをタップして作業をキャンセルします。



クイックコピー、クイックスキャン、クイックコピー&アーカイブ(プレビューあり)

1. スキャナーの中央部にスキャンする面を上にして原稿を挿入します。原稿サイズがソフト画面の左下に表示されます。
2. ホーム画面から「コピー」、「スキャン」、または「スキャン&アーカイブ」のいずれかを選択します。



3. スキャン画像の保存先 : フォルダー または USB

スキャンした画像はコントローラーのフォルダーに保存されるようにデフォルト設定されています。コントローラーに USB メモリーが差し込まれると自動的に「スキャン to USB」のアイコンに切り替わります。

コントローラーから USB メモリーを取り外すときは「USB を取り外す」というアイコンをタップしてから取り外してください。USB メモリーに正しくデータが転送されて安全に取り外すことができます。



4. 「連続モード」をオフにして「プレビュー」をオンにします。緑の開始アイコンをタップします。



5. 赤のアイコンをタップして作業をキャンセルします。



6. スキャンした画像がプレビュー画面に表示されます。必要に応じて画像に編集します。 (「[プレビュー](#)」参照)

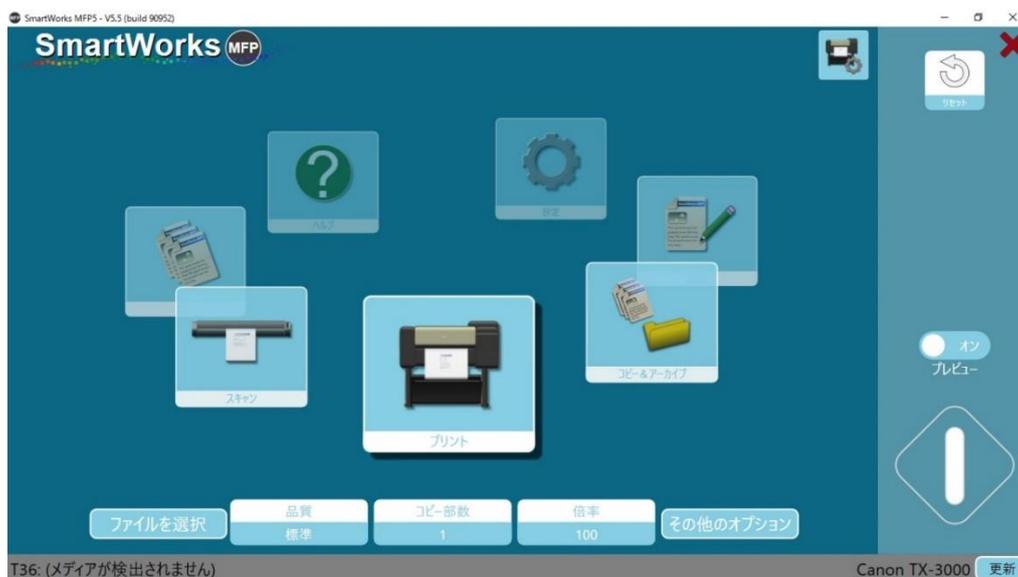


7. 緑のアイコンをタップして編集した画像を保存、またはプリント出力します。
ホームアイコンをタップするとプリント出力をキャンセル、または編集前のオリジナル画像をファイル保存します。リセットアイコンで画像の編集を全てキャンセルし、元の画像に戻します。「削除」アイコンをタップし、スキャンファイルを削除するとホーム画面に戻ります。(スキャンモードのみ)

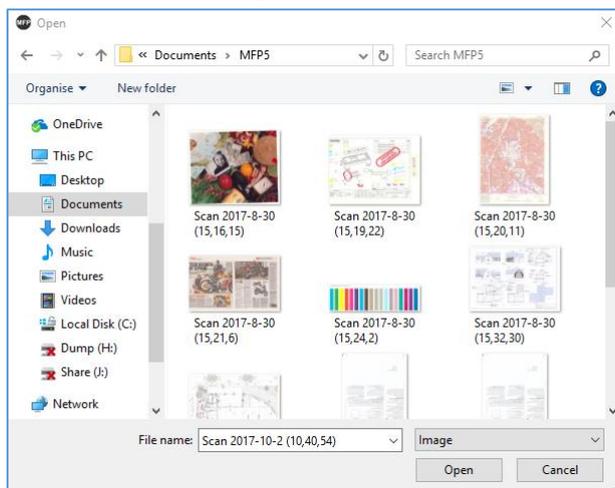


プレビューして画像の編集、プリント出力する

1. ホーム画面で「編集」、または「プリント」を選択します。



2. 編集やプリント出力をする Tiff、または JPEG 画像ファイルを選択します。



3. 緑の開始アイコンをタップします。



4. 画像がプレビュー画面に表示されます。必要に応じて画像に編集を施します。
 (「[プレビュー](#)」参照)



5. 緑のアイコンをタップして編集した画像を保存、またはプリント出力します。ホームアイコンをタップして編集をキャンセルします。リセットボタンで全ての編集をキャンセルして元の画像に戻します。



プレビュー画面での編集

プレビュー画面で画像に様々な編集を施すことができます。

編集項目は「シンプル」(基本的な編集)と「アドバンス」(より高度な編集)に分かれています。

シンプル：ファイル / プリント設定、切抜き、回転、明るさとコントラスト、ミラー

アドバンス：傾き補正、レンダリングintent、白黒ポイントモード、白ポイント、黒ポイント、シャープネス、色変換、反転



-  **ホーム** ホーム: ホームアイコンをタップするとプリントをキャンセル、または画像の編集をせずにオリジナルのスキャンファイルを保存します。
-  **リセット** リセット: リセットアイコンをタップすると全ての編集をキャンセルし、元の画像に戻します。
-  **削除** 削除: 削除アイコンをタップするとスキャンファイルを削除し、ホーム画面に戻ります。(スキャン機能のみ)
-   **ズーム** :「+」と「-」のアイコン、または2本指でのジェスチャー操作で画像の拡大、縮小ができます。拡大表示した画像をタッチして1本の指でドラッグすることができます。
-  **画像をプレビューウインドウの大きさに合わせて表示します。**

プレビュー：画像編集(シンプル)

ファイル設定(スキャン/編集)

保存する画像のファイル名やファイル形式の変更ができます。



プリント設定(コピー/プリント)

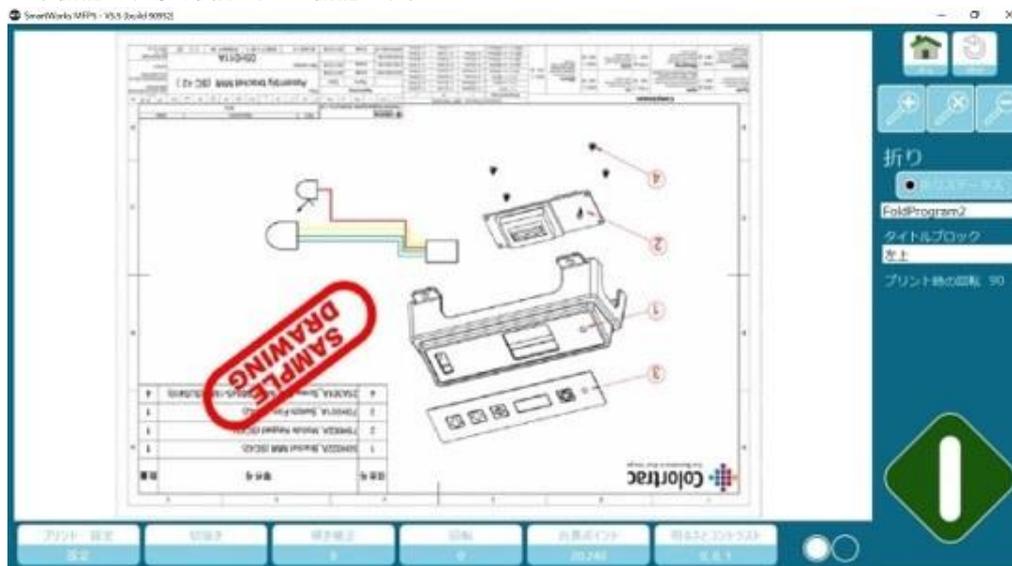
プリントする前にコピー数を変更できます。

プリンターに複数のロールが搭載されている場合はメディアの選択ができます。



折り

折りに対応するプリンターの場合、折りのオプションを再設定することができます。
 ※本機能は、海外製品向けの機能です。

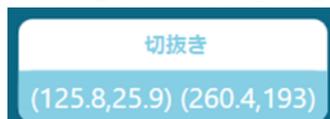


切抜き

プリント、保存したい画像のエリアに切抜きボックスを配置します。切抜きボックスを画像の外までドラッグして拡大し、画像の外に余白を作ることができます。



切り抜きたいエリアを確定して再度「切抜き」アイコンをタップします。



切抜きエリアを変更するにはもう一度「切抜き」アイコンをタップします。エリアを決めた時には「切抜き」アイコンをタップして確定します。(実際の切抜きは緑の開始アイコンをタップしたときに行われます。)

画像の回転

回転をタップして画像を 90 度、180 度、270 度回転します。



ミラー

画像を水平方向に左右反転します。



明るさとコントラスト



「明るさ」の調整機能で画像全体を明るく、または暗くします。
 「コントラスト」調整機能で画像の明るい部分と暗い部分との明暗の差を調整します。
 「ガンマ」調整機能で暗い領域と明るい領域の境界の表現を調整できます。

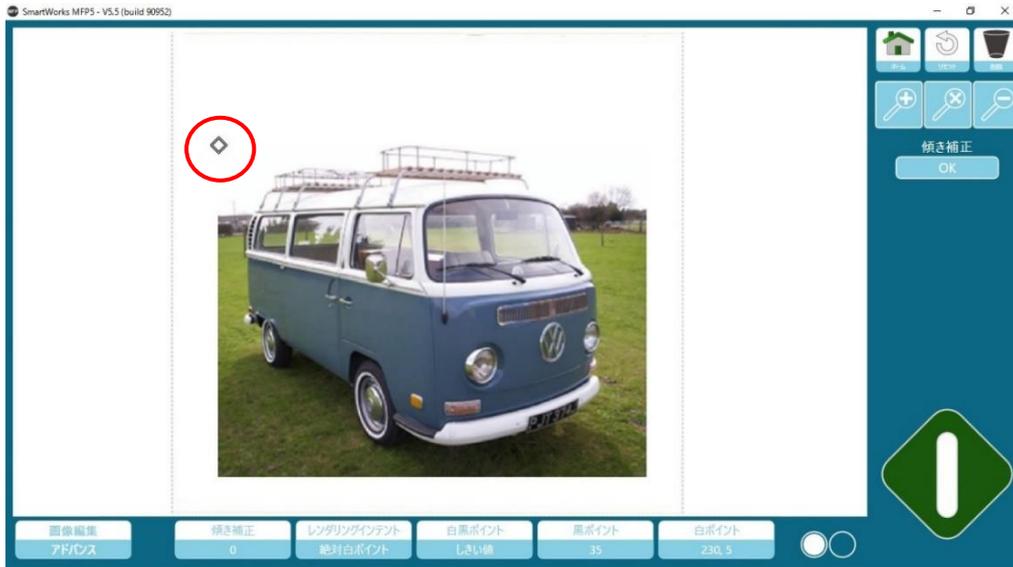
スライダーを使用して調整する：スライダーの丸いドットにタッチして右、左にドラッグします。またはドットの右、左側をタッチしてスライダーを段階的に移動させます。

プレビュー：画像編集(アドバンス)

傾き補正



ズームアウトして画像の一番上を確認します。画像左上にダイヤモンドがあることを確認して下さい。



ダイヤモンドにタッチして画像の右側にドラッグし、傾きを補正する基準となる位置を決めます。



左側のダイヤモンドにタッチして左端にドラッグし、傾きを補正する基準となる位置を決めます。(上図の例では車の窓の上の線)



OKをタップして傾き補正を確定します。

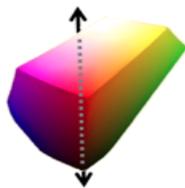


レンダリングIntent

- スキャナーからのカラーデータをどのように表現するかを定義します。
 - 相対白ポイントは自然な白色を表現し、写真などの原稿に有効です。

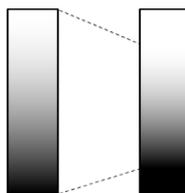


- 絶対白ポイントは相対白ポイントに比べ、色の変化が少ないため、色の精度を重視する場合に有効です。

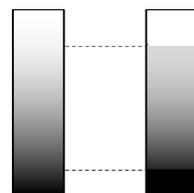


白黒ポイント

- 白黒ポイントに適用される方法を定義します。どちらの方法も白黒ポイントの数値を超えた色を強制的に白や黒に近づけますが数値以内の色の取り扱いに違いがあります。
 - 標準白黒ポイントは数値以内の色のスムーズなグラデーションを可能にします。写真など、全体的に自然な色で表現されます。



- しきい値を使った白黒ポイントは数値以内の色は変換しません。色の精度を重視する場合にはこちらの方法が適しています。



黒ポイント

- 黒ポイントは画像のとても暗い部分の色を黒にします。文字や線を暗い色味のグレーから黒にします。スライダーを右側にスライドさせると(数値が大きくなります)画像の多くの部分がより黒に近づきます。



スライダーで調整：スライダーの丸いドットにタッチして右、左にドラッグします。またはドットの右、左側をタッチしてスライダーを段階的に移動させます。

白ポイント

- 白ポイントは画像のとても明るい部分を白にします。白紙をオフホワイトから白にしたいときなど使用できます。スライダーを左側にスライドさせると(数値が小さくなります)画像の多くの部分がより白に近づきます。
- しきい値モードでも数値の調整ができます。数値を超えた色は強制的に白になります。



スライダーで調整：スライダーの丸いドットにタッチして右、左にドラッグします。またはドットの右、左側をタッチしてスライダーを段階的に移動させます。

シャープネス

ラインやエッジを強調します。

量：適用するシャープの量を設定します。値が大きければ大きいほどエッジピクセル間のコントラストが増し、シャープさが強調されます。

半径：シャープの影響を受ける輪郭周辺の幅を設定します。半径の値が大きいくほど適用される範囲は広くなり、シャープな画像になります。

しきい値：シャープを適用しない範囲を設定します。設定した値が周囲のピクセル値を超えると、シャープニングの対象として判断されます。

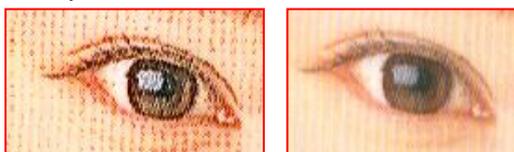


スライダーで調整：スライダーの丸いドットにタッチして右、左にドラッグします。またはドットの右、左側をタッチしてスライダーを段階的に移動させます。

シャープネスを使用すると画像の細かい部分を強調します。線画や文字をくっきりと表現するのに最適ですが写真などには向いていません。場合によっては、画面上やプリント時のモアレを引き起こす原因となります。写真などのスキャンにはシャープネスが入っていない、または最小限にした「フォト」や「グラフィック」プリセットが有効です。モアレの影響を減らす方法としてはスキャンの解像度を変更したり、原稿の挿入角度を変えたりすることで改善できる場合があります。

モアレ(干渉縞)とは、規則正しい繰り返し模様を複数重ね合わせたときに、それらの周期のズレにより発生する縞状の周期的なパターンのことです。

300dpi – シャープネスを使用した画像と使用しない画像



600dpi – シャープネスを使用した画像と使用しない画像



色の変更

画像の赤、緑、青の数値を調整します。



スライダーで調整：スライダーの丸いドットにタッチして右、左にドラッグします。またはドットの右、左側をタッチしてスライダーを段階的に移動させます。

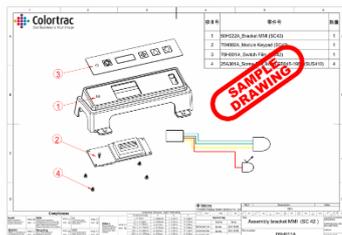
色の反転

色を反転します。青や黒のバックグラウンドにある白の線を白のバックグラウンドの青や黒の線に変換するときによく使用されます。

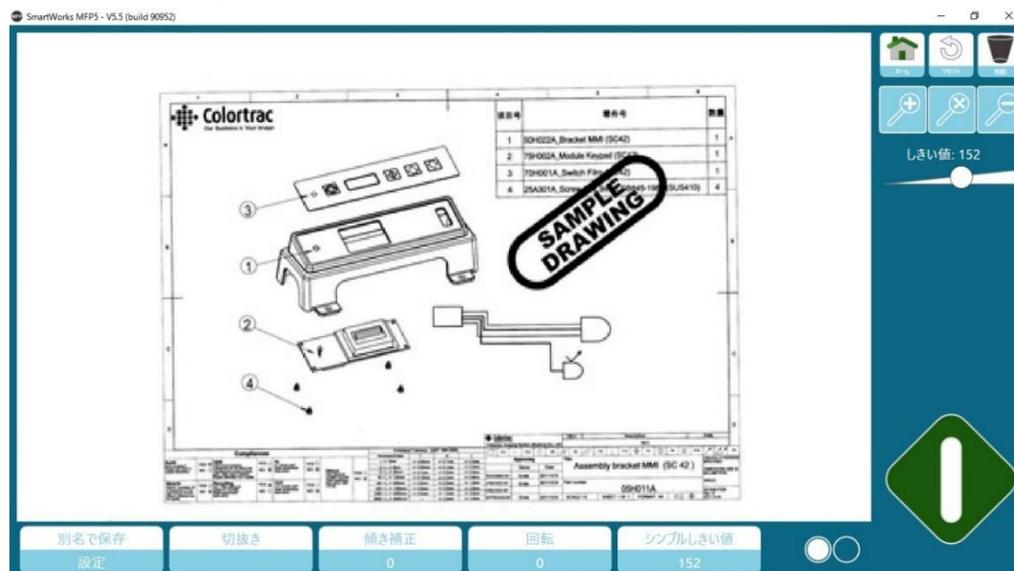


シンプルしきい値 (白黒モード)

画像全体にシンプルなしきい値を設定します。汚れが少なく、きれいな原稿のスキャン画像に、より効果的です。

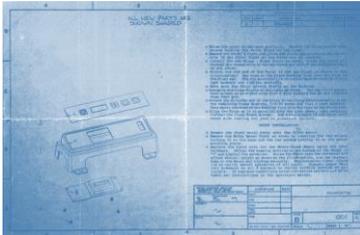


ピクセルを黒、または白にする基準を設定します。数値が高いほどより多くのピクセルが黒にセットされます。

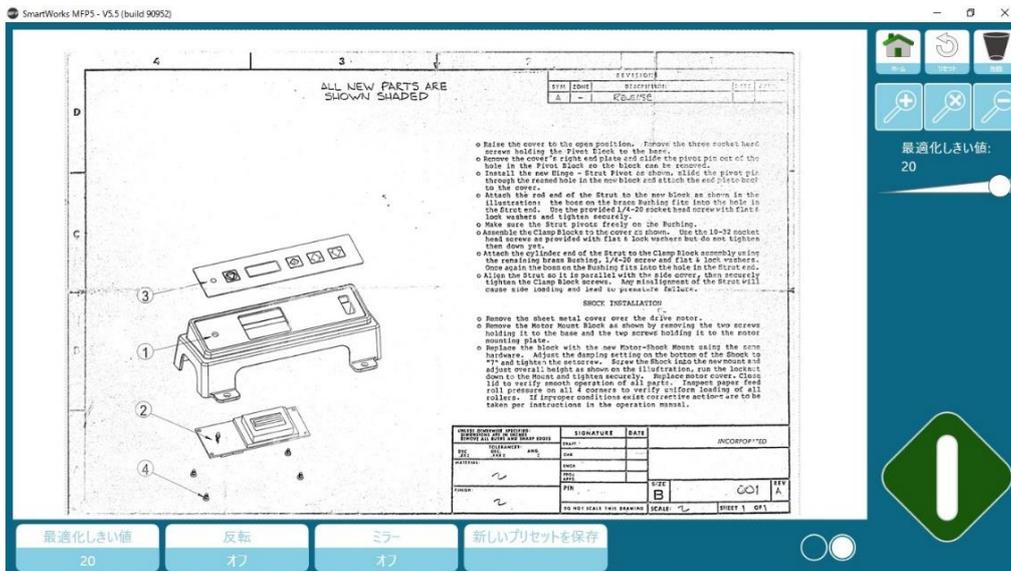


最適化しきい値 (白黒モード)

スキャンの画像データに合わせてしきい値を最適化します。汚れた画像を調整するのに効果的です。



ピクセルを黒、または白にする基準を設定します。数値が高いほどより多くのピクセルが白にセットされます。



新しいプリセットを保存する

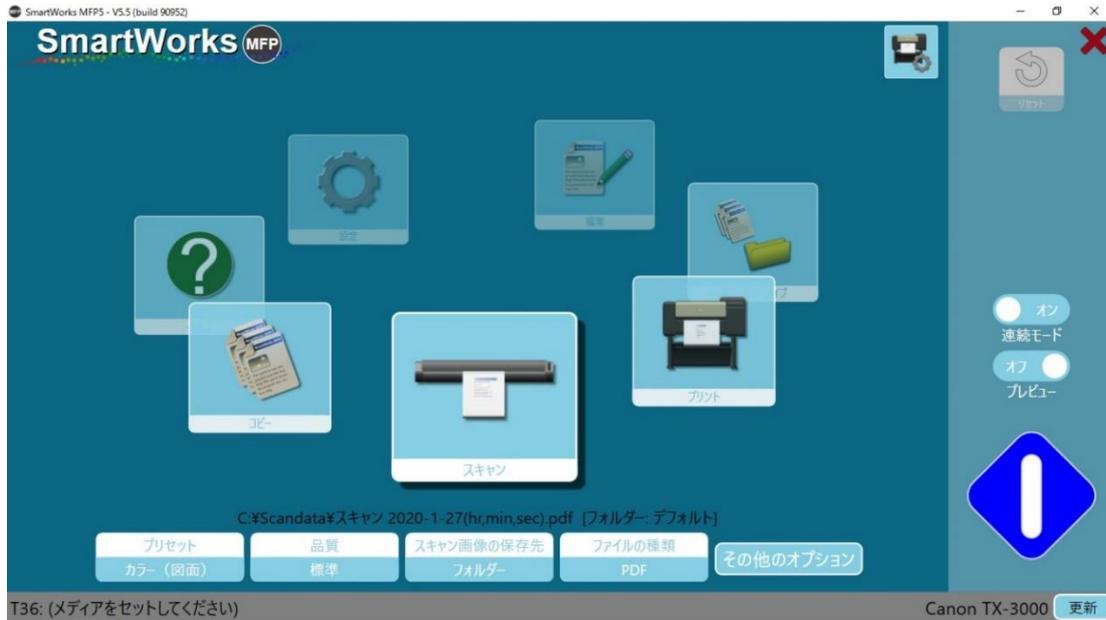
現在の設定と画像編集の数値を全て新しいプリセットとして保存し、新しいプリセット名を入力します。



連続モード(プレビューなし)

複数の原稿をコピー、スキャン、コピー&アーカイブする場合に連続モードを選択した場合:

緑の開始アイコンをタップして一枚目の原稿をスキャンします。次のページからはスキャナーに原稿を挿入すると自動でスキャンを行います。青の終了アイコンをタップすると連続スキャンを終了し、最後の原稿を保存、またはプリント出力します。

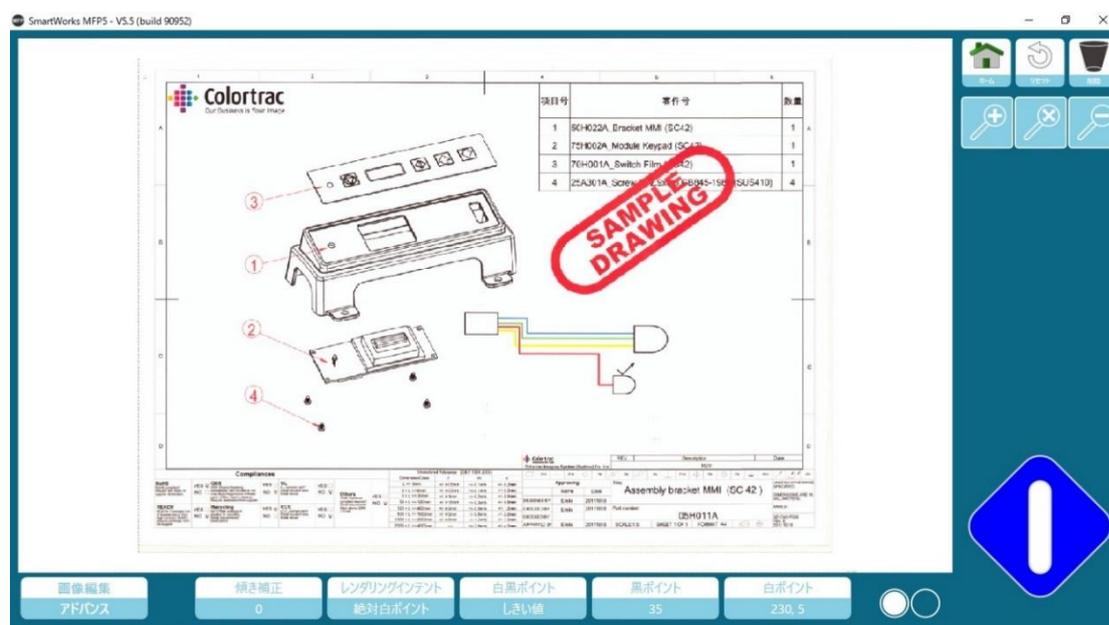


連続モード(プレビューあり)

複数の原稿をコピー、スキャン、コピー&アーカイブする場合に連続モードを選択した場合:

緑の開始アイコンをタップして一枚目の原稿をスキャンします。次のページからはスキャナーに原稿を挿入すると自動でスキャンを行います。

それぞれの画像がスクリーンに表示され、編集を施すことができます。スキャナーに次の原稿が挿入されると画像に行った編集が適用され、ファイル保存、またはプリント出力されます。



ホームアイコンでプリントをキャンセル、または画像の編集をせずにオリジナルのスキャンファイルを保存します。

「削除」アイコンをタップするとスキャンファイルを削除し、ホーム画面に戻ります。(スキャンモードのみ)

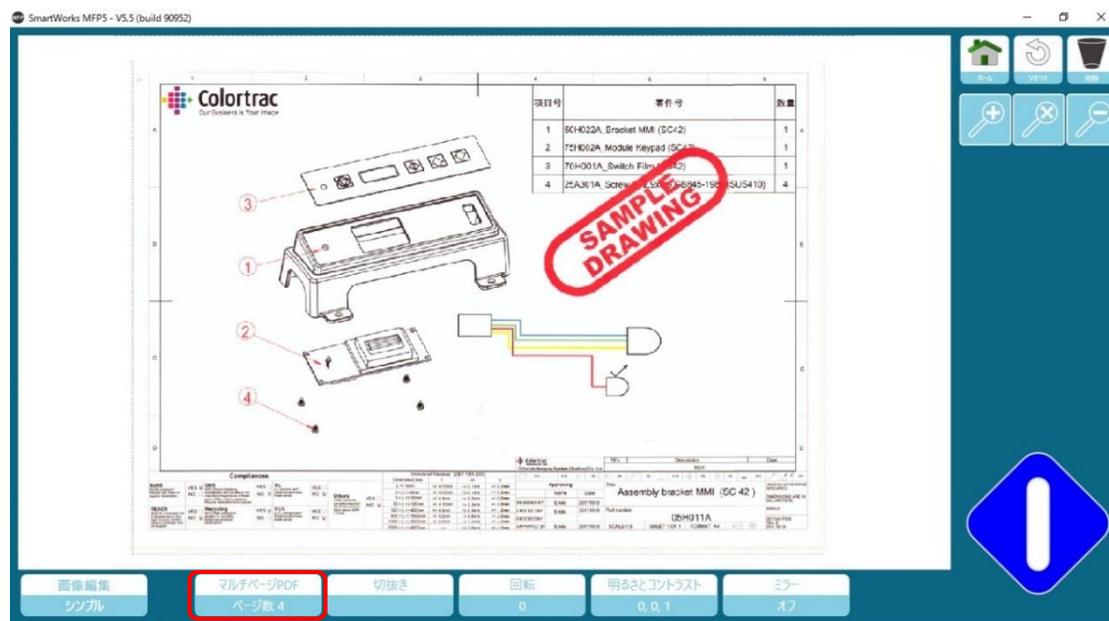
青の終了アイコンをタップすると編集を施した最後の原稿を保存、またはプリントしてホーム画面に戻ります。

スキャン to マルチページ PDF (プレビューあり)

緑の開始アイコンをタップして一枚目の原稿をスキャンします。次のページからはスキャナーに原稿を挿入すると自動でスキャンを行います。

それぞれの画像がスクリーンに表示され、編集を施すことができます。スキャナーに次の原稿が挿入されると画像に行った編集が適応され、ファイル保存、またはプリント出力されます。

画面左下にスキャンされたページ数が表示されます。



ホームアイコンをタップすると画像の編集をせずにオリジナルのスキャンファイルを保存し、ホーム画面に戻ります。

「削除」アイコンをタップするとスキャンファイルを削除し、ホーム画面に戻ります。

青の終了アイコンをタップするとマルチページ PDF のスキャンを停止して下記のオプションを表示します。



次のページをスキャン: 変更を行わずに次のページをスキャンします。

前のページを再スキャン: 前のページのスキャンを差し替える(スキャンが正しく行えなかった場合、またはページ順が正しくない場合などに使います)

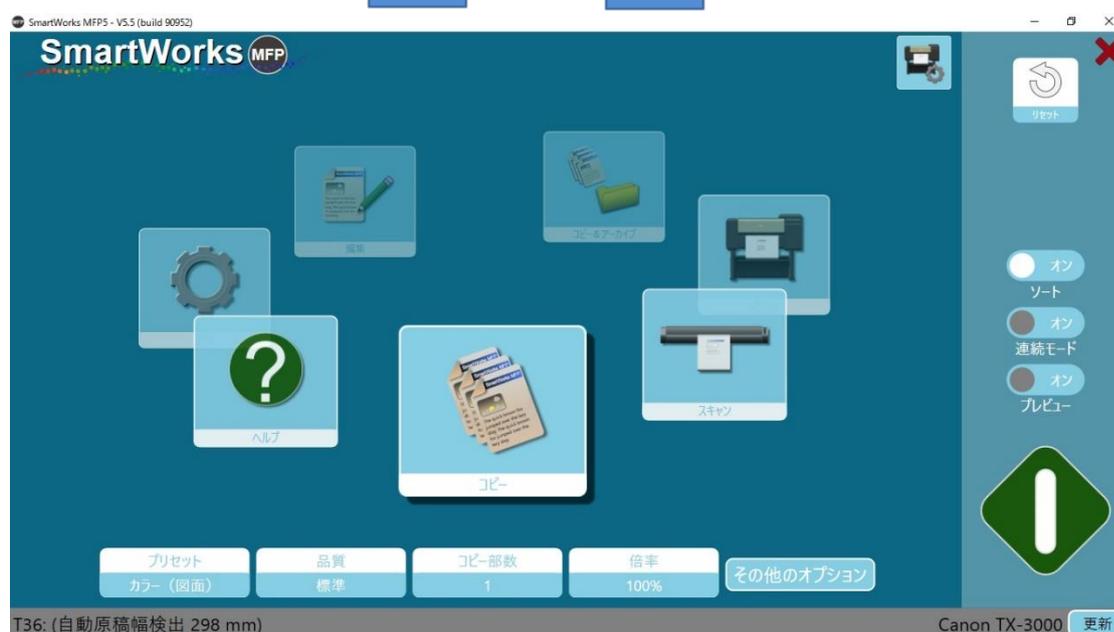
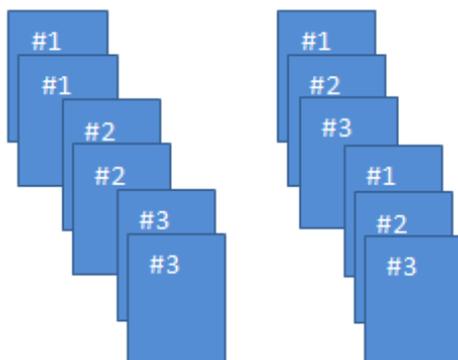
終了: 全てのページをスキャンしてマルチページ PDF ファイルを閉じます。

ジョブのキャンセル: マルチページ PDF スキャンのすべてのジョブをキャンセルします。

ソートの設定

複数原稿の部数指定コピーを行う際に、グループコピーかソートコピーを設定します。設定された順序に部数出力されます。

例： ソート: オフ(グループコピー) ソート: オン(ソートコピー)

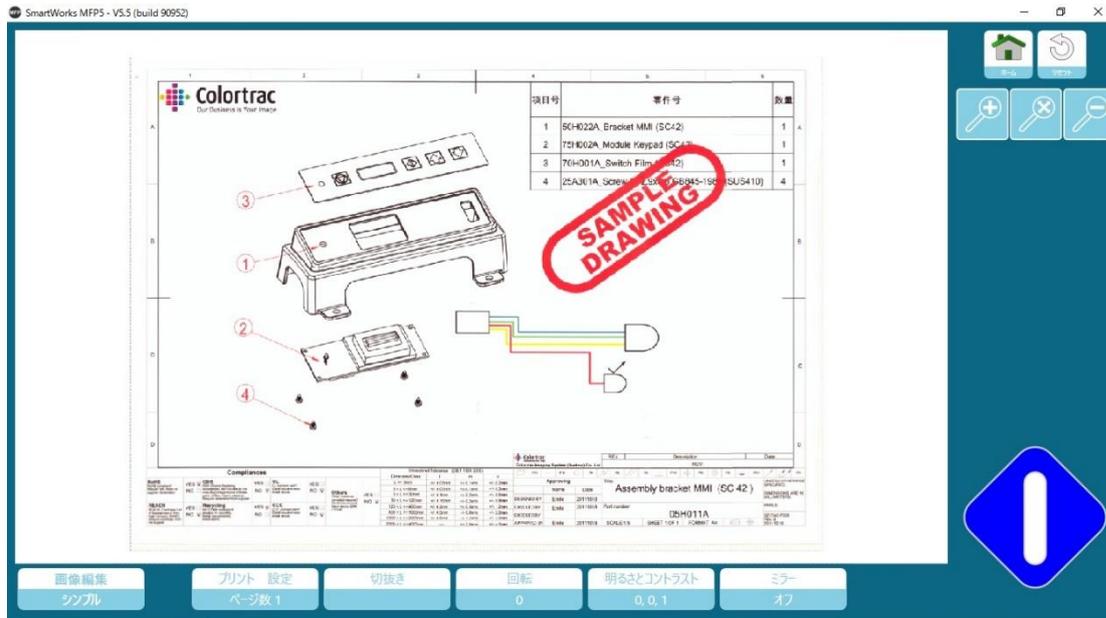


コピー部数を選択します。

緑の開始アイコンをタップしてセットの一枚目の原稿をスキャンします。次のページからはスキャナーに原稿を挿入すると自動でスキャンを行います。

スキャンされたページは画面に表示され、スキャン画像への編集ができます。次のページがスキャナーに挿入されると先ほど行った編集が画像に施され、そのページが保存されます。

画面左下にスキャンされたページ数が表示されます。



「ホーム」アイコンをタップするとプリントをキャンセルし、ホーム画面に戻ります。

青のアイコンをタップするとソートの機能を停止し、下記のオプションが表示されます。



次のページをスキャン：変更を行わずに次のページをスキャンします。

前のページを再スキャン：前のページのスキャンを差し替える(スキャンが正しく行えなかった場合、またはページ順が正しくない場合などに使います)

プリント：「プリント」をタップすると下記のオプションが表示されます。

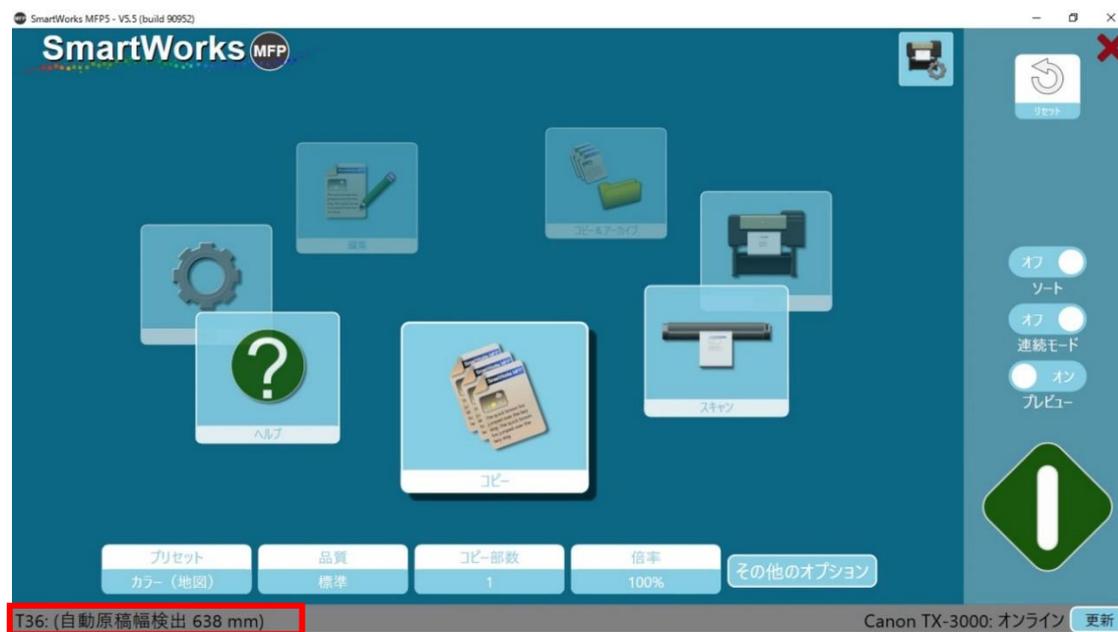
ジョブのキャンセル：すべてのジョブをキャンセルします。



ソートの順序を選択し、OKをタップします。

「キャンセル」をタップするとプリントせずにこのジョブを終了します。

コピー：その他のオプション



オプション：

プリンターオプション：



2 段ロール給紙の場合、使用するメディアを選択します。



コピーオプション



プリセット： 原稿の種類 & カラーモード (カラー、グレースケール、白黒)
 選択したカラーモードはコピー時の出力カラーモードと連動します。



品質： ドラフト、標準、高画質
 スキャン時の品質 (解像度) です。コピー時の印刷品位と連動します。
 各設定ごとのスキャン解像度の変更はプリセットの編集で行えます。



コピー部数： 1 部から最大 100 部



倍率： ロールサイズに合わせて印刷、1%から 500%まで倍率を指定、 原稿サイズ / 出カサイズを定型サイズで指定することができます。



コピー： その他のオプション [ページ 1]



用紙サイズ = 原稿サイズ

リストに表示する用紙サイズの数、ユーザー定義サイズは「プログラム環境設定」で設定することができます。

- **自動**：スキャナーが自動で原稿の幅と長さを検知します。
- **一番近い定型サイズ**：この機能を有効にすると一番サイズに近い ISO、ANSI、ARCH 定型幅サイズを認識し、その幅に自動で設定します。中央のペーパーセンサーが原稿を検知できれば原稿はスキャナーの原稿挿入口のどこにでもセットできます。スキャンされた画像は定型幅サイズになります。
- **全幅**：原稿幅は T25 スキャナーでは 25 インチ、T36 スキャナーでは 36 インチに設定されています。原稿長さはスキャナーが検知します。
- **ISO、ANSI、ARCH**：定型サイズを選択できます。
- **ユーザー定義**：ユーザーによって設定された用紙サイズを選択できます。



ISO	サイズ	ANSI	サイズ	ARCH	サイズ
A0	841mm x 1189mm	E	34in x 44 in	ARCH E	36inx 48in
A1	841mm x 594mm	D	34in x 22 in	ARCH D	36in x 24in
A2	594mm x 420mm	C	22in x 17 in	ARCH C	24in x 18in
A3	297mm x 420mm	B	17in x 11in	ARCH B	18in x 12in
A4	297mm x 210mm	A	11in x 8.5in	ARCH A	12in x 9in

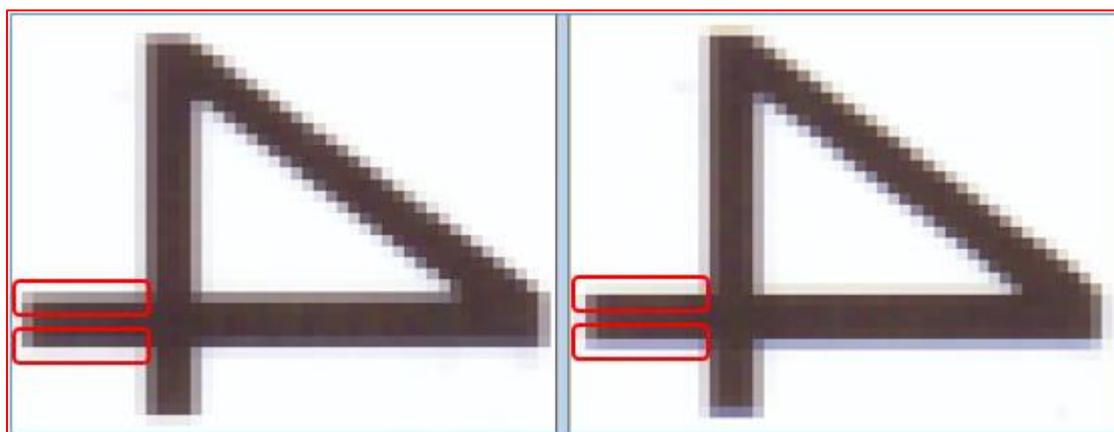
コピー：その他のオプション [ページ 2]



輪郭強調： 細線やテキストの輪郭部を検出し、画像をシャープにします。

オン

オフ



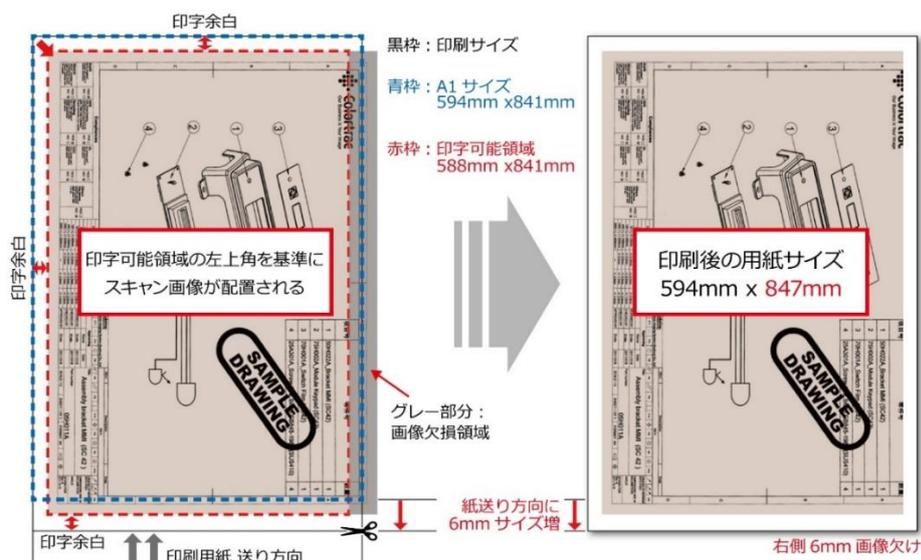
枠のトリミング： A0/A1 ロール紙に A0 や A1、A2 の等倍コピーを行いたい場合など、主に定形サイズのコピー時に使用します。スキャン画像の四辺からプリント時に必要な印字余白と同じ 3mm を自動で切り取ります。画面に表示されるプレビュー画像には適用されませんがプリント時にこのマージンが削除されます。

枠のトリミングの例

例:A1 の定型サイズでスキャンし、A1 ロール紙にプリントする場合

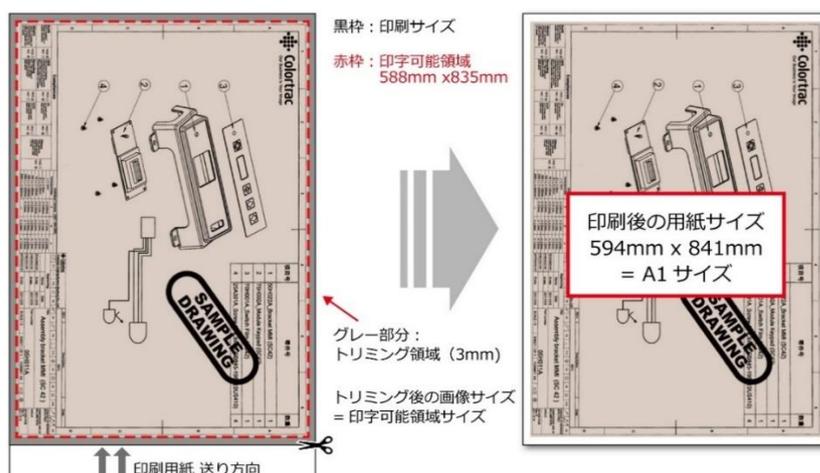
●トリミング・オフ

プリント時に出力用紙の余白 3mm 分 スキャン画像が移動します。このため横方向で 6mm の画像欠損(右側)とタテ方向で 6mm 用紙サイズが大きくなり、出力サイズは 594mm × 847mm となります。



●トリミング・オン

プリントする前にスキャン画像の四方の 3mm をトリミングし、A1 サイズ 594mm × 841mm でプリントします。



印刷自動回転： プリンターに搭載しているロール紙の印字可能幅より画像の長辺側が短い場合に、自動で画像を回転します。

- 「印刷自動回転」を実行する前にどのロールが使用可能かを確認します。
 - 「ロールナンバーで選択する」: そのロールのみが選択されます。
 - 「メディアの種類で選択する」: そのメディアが搭載されているロールを選択します。
- 縦置きでのスキャンは、可能な場合は横置きに回転します。(できるだけ横置きでスキャンすることをお勧めします)
- 横置きでのスキャンには自動回転は適用されません。
- ロールの幅に合わせてプリントするように倍率を設定した場合、自動回転は適用されません。

レンダリングIntent: スキャナーのカラーデータをどのように表現するか定義します。

- 相対白ポイントは自然な白色を表現し、写真などの原稿に有効です。



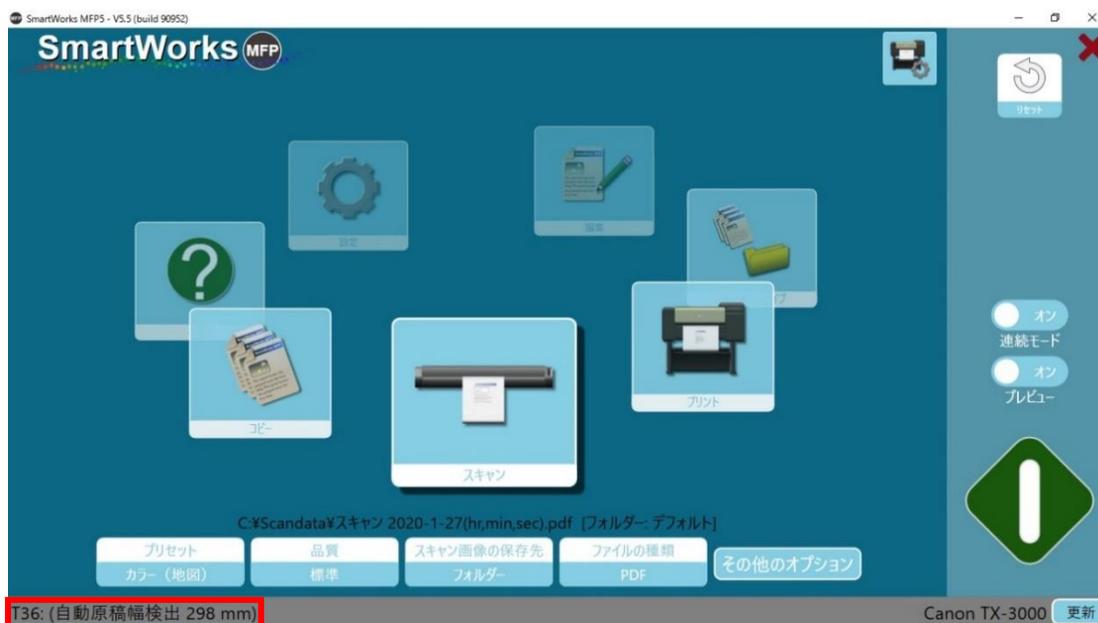
- 絶対白ポイントは相対白ポイントに比べ、色の変化が少ないため、色の精度を重視する場合に有効です。



自動白黒ポイント： プレビューが有効の場合、全画像を分析した後に白黒ポイントの数値が自動的に設定されます。この数値はプレビュー内で変更できます。プレビューが無効の場合、自動白黒ポイントは適用されません。



スキャン：その他のオプション



スキャンオプション



プリセット：原稿の種類 & カラーモード（カラー、グレースケール、白黒）

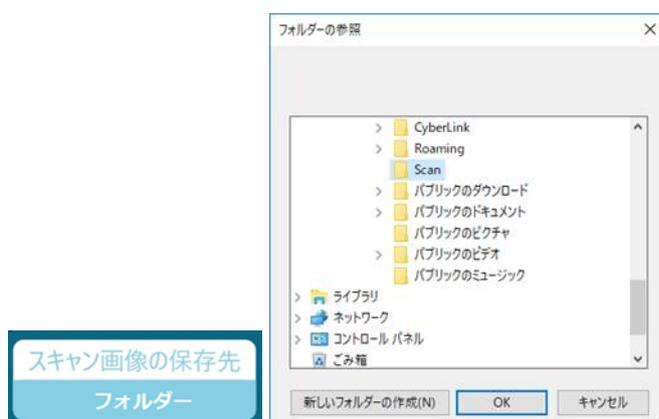


品質：ドラフト、標準、高品質

各設定に割り当てられたスキャン解像度の変更は、プリセットの編集で行います。



スキャン画像の保存先：スキャンした画像を保存するフォルダーを選択できます。



スキャンした画像は PC のフォルダーに保存されるようにデフォルトで設定されています。USB メモリーが PC に差し込まれるとアイコンが自動的に「スキャン to USB」に変わります。

USB メモリーをコントローラーから引き抜く前に必ず「USB を取り外す」をタップして安全に取り外してください。



ファイル形式：PDF、マルチページ PDF、JPEG、TIFF、PDF/A、DWF

※すべてラスタ画像として保存されます。



スキャン：その他のオプション [ページ 1]



用紙サイズ = 原稿サイズ

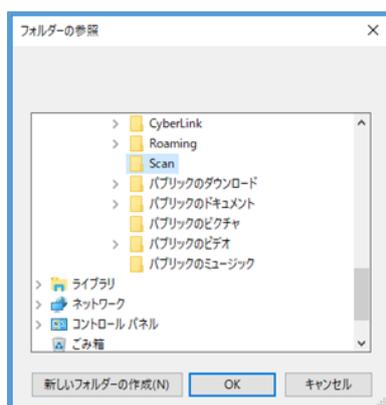
リストに表示する用紙サイズの数、ユーザー定義サイズは「プログラム環境設定」で設定することができます。

- **自動**：スキャナーが自動で原稿の幅と長さを検知します。
- **一番近い定型サイズ**：この機能を有効にすると一番サイズが近い ISO、ANSI、ARCH 定型幅サイズを認識し、その幅に自動で設定します。中央のペーパーセンサーが原稿を検知できれば原稿はスキャナーの原稿挿入口のどこにでもセットできます。スキャンされた画像は定型幅サイズになります。
- **全幅**：原稿幅は T25 スキャナーでは 25 インチ、T36 スキャナーでは 36 インチに設定されています。原稿長さはスキャナーが検知します。
- **ISO、ANSI、ARCH**：定型サイズを選択できます。
- **ユーザー定義**：ユーザーによって設定された用紙サイズを選択できます。



ISO	サイズ	ANSI	サイズ	ARCH	サイズ
A0	841mm x 1189mm	E	34in x 44 in	ARCH E	36inx 48in
A1	841mm x 594mm	D	34in x 22 in	ARCH D	36in x 24in
A2	594mm x 420mm	C	22in x 17 in	ARCH C	24in x 18in
A3	297mm x 420mm	B	17in x 11in	ARCH B	18in x 12in
A4	297mm x 210mm	A	11in x 8.5in	ARCH A	12in x 9in

スキャン to フォルダー : スキャンファイルを保存するフォルダーを選択してください。



スキャン to クラウド : スキャンファイルは Direct Print & Share ソフトウェアに送信され、その後、選択したクラウドにアップロードします。コントローラーに Direct Print & Share がインストールされている場合のみ利用可能です。



スキャン to E メール :

※本機能を使用する場合、事前に「設定」の「管理者プログラム設定」で E メール SMTP サーバーの設定を行います。(「E メール」)参照)

スキャン to E メールを有効にして原稿をスキャン後、送信先のメールアドレスを入力し、メッセージの件名を入力します。送信先のメールアドレスは保存することができ、有効なユーザーのみが使用できます。



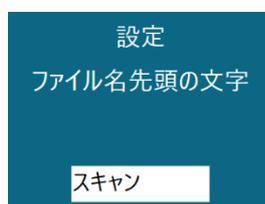
「差出人」のアドレス変更はユーザーアカウント機能が有効で、かつ管理者によって許可された場合にのみ可能です。その場合、パスワード入力が必要になります。これらの詳細は「保存」で設定値を保持でき、有効なユーザーのみが使用できます。また、「デフォルト」で管理者が登録した設定値に戻すことができます。



スキャン：その他のオプション [ページ 2]



ファイル名先頭の文字：ここに設定された文字がスキャンファイル名の先頭の文字になります。文字を入力し、「適用」をタップします。



ファイル名に日付を入れる：スキャンファイル名に時間と日付を入れます。

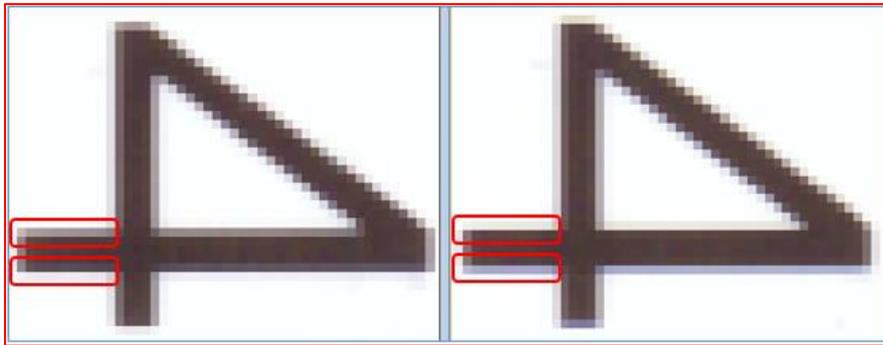
オフ: C:\Users\mst\Documents\MFP5\Scan.tif

オン: C:\Users\mst\Documents\MFP5\Scan 2017-10-2(hr,min,sec).tif

輪郭強調：細線やテキスト部分の輪郭を検出し、画像をシャープにします。

オン

オフ



レンダリングIntent：スキャナーのカラーデータをどのように表現するか定義します。

- 相対白ポイントは自然な白色を表現し、写真などの原稿に有効です。



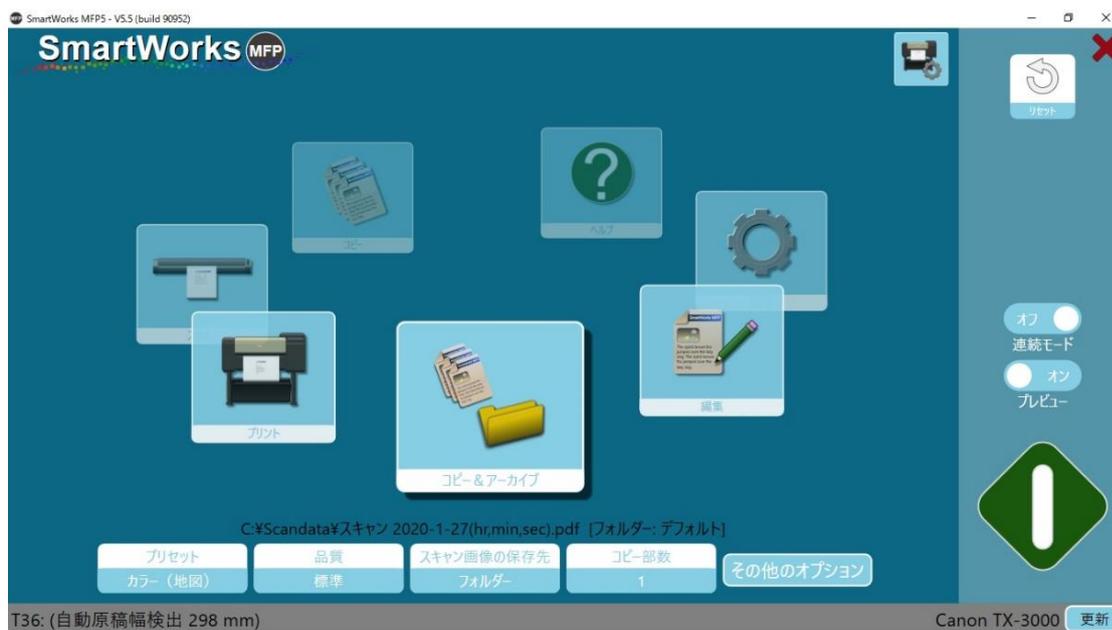
- 絶対白ポイントは相対白ポイントに比べ、色の変化が少ないため、色の精度を重視する場合に有効です。



自動白黒ポイント：プレビューが有効の場合、全画像を分析した後に白黒ポイントの数値が自動的に設定されます。この数値はプレビュー内で変更できます。プレビューが無効の場合、自動白黒ポイントは適用されません。



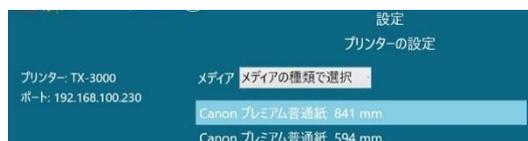
コピー & アーカイブ : その他のオプション



プリンターオプション :



2段ロール給紙の場合、プリント出力するメディアの種類を選択します。デフォルトでは上段のロール紙が選択されます。



コピー & アーカイブ : オプション



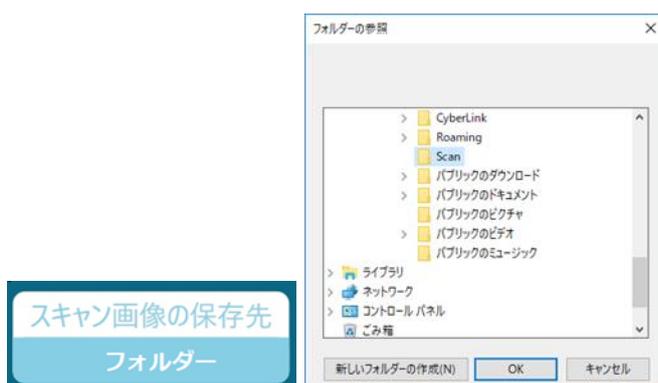
プリセット : 原稿の種類 & カラーモード (カラー、グレースケール、白黒)



品質 : ドラフト、標準、高品質



スキャン画像の保存先 : スキャンした画像を保存するフォルダーを選択できます。



スキャン画像はコントローラーのフォルダーに保存されるようにデフォルト設定されています。USBメモリーがコントローラーに差し込まれるとアイコンが自動的に「スキャン to USB」に変わります。

USBメモリーをコントローラーから引き抜く前に必ず「USBを取り外す」をタップして安全に取り外してください。



コピー部数 : 1部から最大 100部



コピー & アーカイブ : その他のオプション [ページ 1]



原稿サイズ

リストに表示する用紙サイズの数、ユーザー定義サイズは「プログラム環境設定」で6件まで登録することができます。

- **自動**：スキャナーが自動で原稿の幅と長さを検知します。
- **一番近い定型サイズ**：この機能を有効にすると一番サイズに近い ISO、ANSI、ARCH 定型幅サイズを認識し、その幅に自動で設定します。中央のペーパーセンサーが原稿を検知できれば原稿はスキャナーの原稿挿入口のどこにでもセットできます。スキャンされた画像は定型幅サイズになります。
- **全幅**：原稿幅は T25 スキャナーでは 25 インチ、T36 スキャナーでは 36 インチに設定されています。原稿長さはスキャナーが検知します。
- **ISO、ANSI、ARCH**：定型サイズを選択できます。
- **ユーザー定義**：ユーザーによって設定された用紙サイズを選択できます。

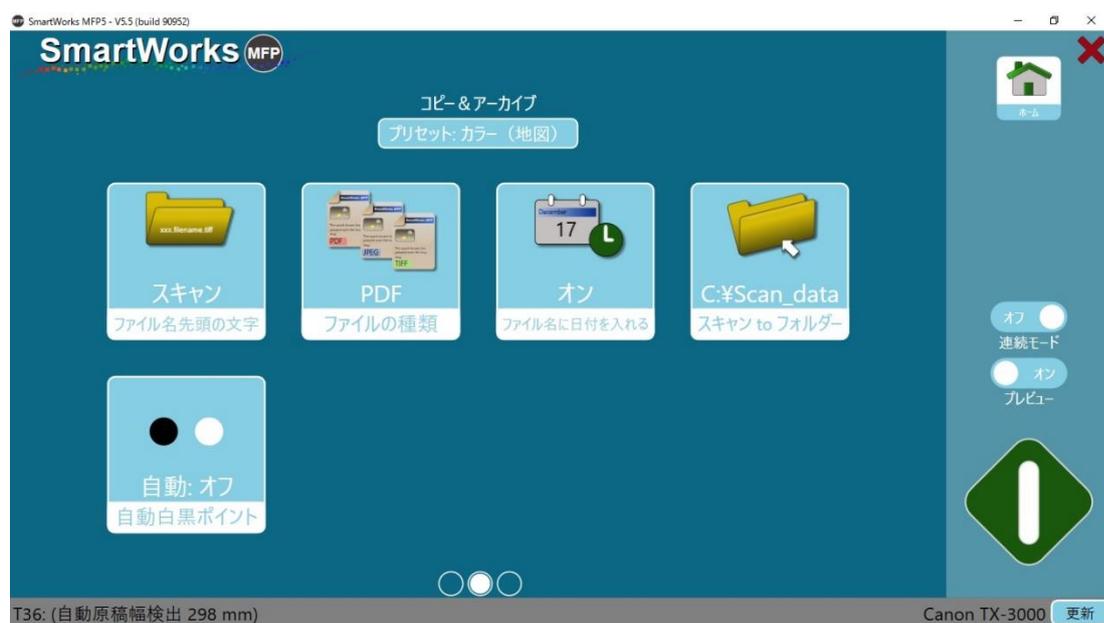


ISO	Dimensions	ANSI	Dimensions	ARCH	Dimensions
A0	841mm x 1189mm	E	34in x 44 in	ARCH E	36inx 48in
A1	841mm x 594mm	D	34in x 22 in	ARCH D	36in x 24in
A2	594mm x 420mm	C	22in x 17 in	ARCH C	24in x 18in
A3	297mm x 420mm	B	17in x 11in	ARCH B	18in x 12in
A4	297mm x 210mm	A	11in x 8.5in	ARCH A	12in x 9in

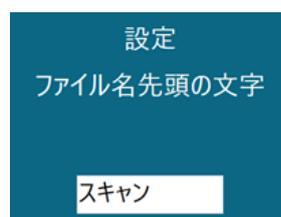
倍率：ロールサイズに合わせて印刷、1%から 500%で倍率を指定、または原稿サイズ/出力サイズを定型サイズで指定することができます。



コピー & アーカイブ：その他のオプション [ページ 2]



ファイル名先頭の文字：ここに設定された文字がスキャンファイル名の先頭の文字になります。文字を入力し、「適用」をタップします。



ファイル形式 : PDF、マルチページ PDF、JPEG、TIFF、PDF/A、DWF

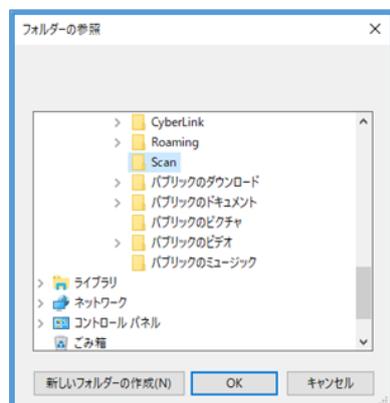


ファイル名に日付を入れる : スキャンファイル名に時間と日付を入れます。

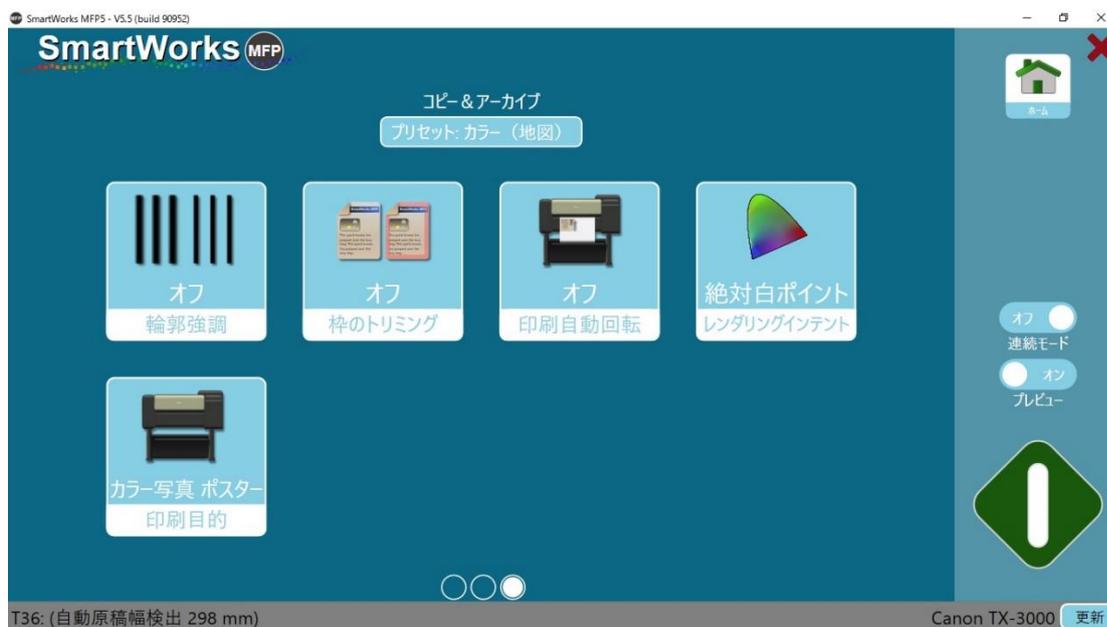
オフ: C:\Users\mst\Documents\MFP5\Scan.tif

オン: C:\Users\mst\Documents\MFP5\Scan 2017-10-2(hr,min,sec).tif

スキャン to フォルダー : スキャンファイルを保存するフォルダーを選択します。



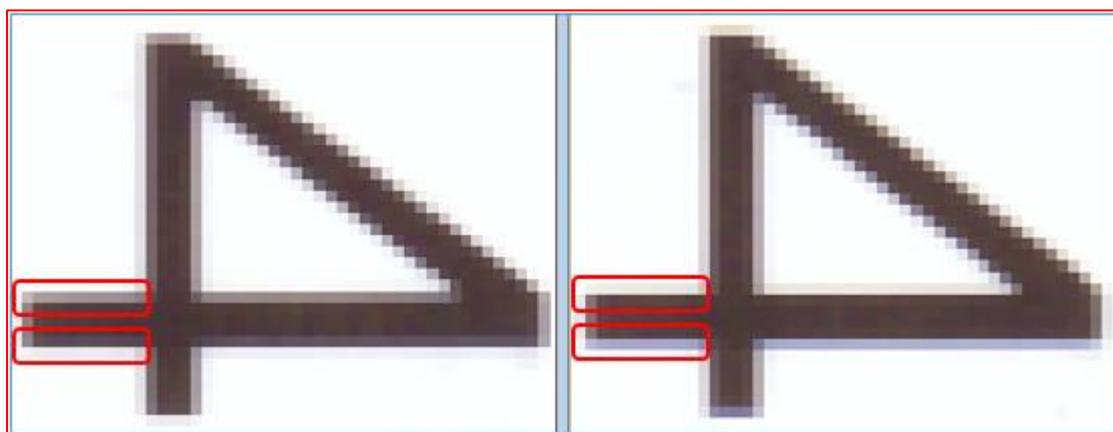
コピー & アーカイブ : その他のオプション [ページ 3]



輪郭強調 : 細線やテキスト部分の輪郭を検出し、画像をシャープにします。

オン

オフ



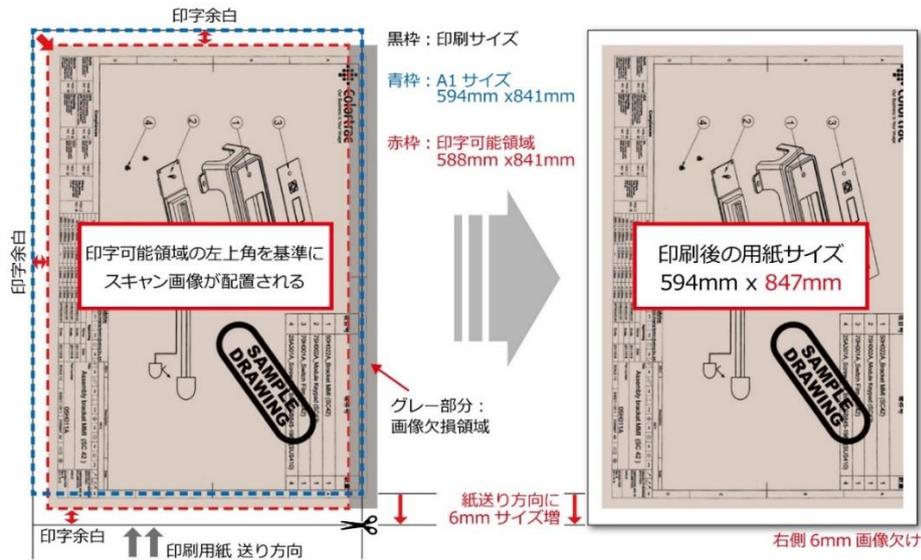
枠のトリミング : プリント時にスキャン画像の四辺を 3 mm 自動で切り取ります。画面に表示されるプレビュー画像には適用されませんがプリント時にこのマージンが削除されます。

枠のトリミング例:

A1 の定型サイズでスキャンし、A1 ロール紙にプリントする場合

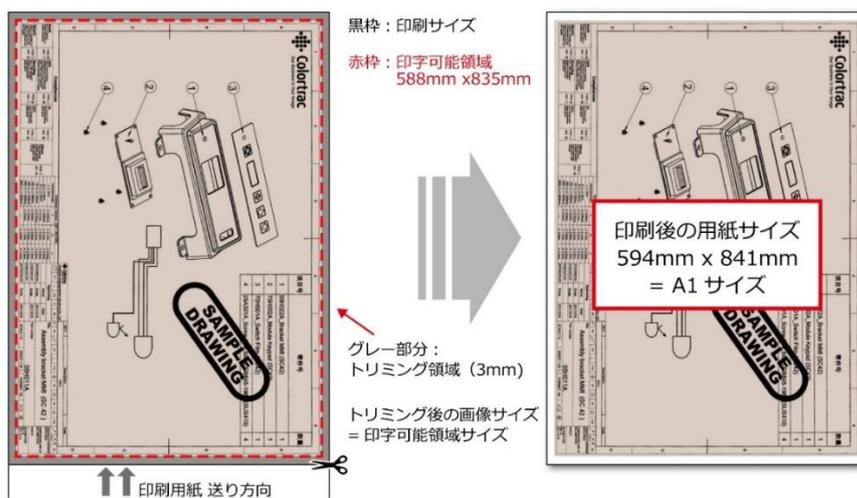
●トリミング・オフ

プリント時に出力用紙の余白 3mm 分 スキャン画像が移動します。このため横方向で 6mm の画像欠損(右側)とタテ方向で 6mm 用紙サイズが大きくなり、出力サイズは 594mm x 847mm となります。



●トリミング・オン

プリントする前にスキャン画像の四方の 3mm をトリミングし、A1 サイズ 594mm x 841mm でプリントします。



印刷自動回転：プリンターに搭載しているロール紙の印字可能幅より画像の長辺側が短い場合に、自動で画像を回転します。

- 「印刷自動回転」を実行する前にどのロールが使用可能かを確認します。
 - 「ロールナンバーで選択する」：そのロールのみが選択されます。
 - 「メディアの種類で選択する」：そのメディアが搭載されているロールを選択します。
- 縦置きでのスキャンは、可能な場合は横置きに回転します。(できるだけ横置きでスキャンすることをお勧めします)
- 横置きでのスキャンには自動回転は適用されません。
- ロールの幅に合わせてプリントするように倍率を設定した場合、自動回転は適用されません。

レンダリングintent：スキャナーのカラーデータをどのように表現するか定義します。

- 相対白ポイントは自然な白色を表現し、写真などの原稿に有効です。



- 絶対白ポイントは相対白ポイントに比べ、色の変化が少ないため、色の精度を重視する場合に有効です。



自動白黒ポイント：プレビューが有効の場合、全画像を分析した後に白黒ポイントの数値が自動的に設定されます。プレビュー内でこの数値は変更できます。プレビューが無効の場合、自動白黒ポイントは適用されません。



プリント：その他のオプション



プリンターオプション:



2 段ロール給紙の場合、プリント出力するメディアの種類を選択します。デフォルトでは上段のロール紙が選択されます。

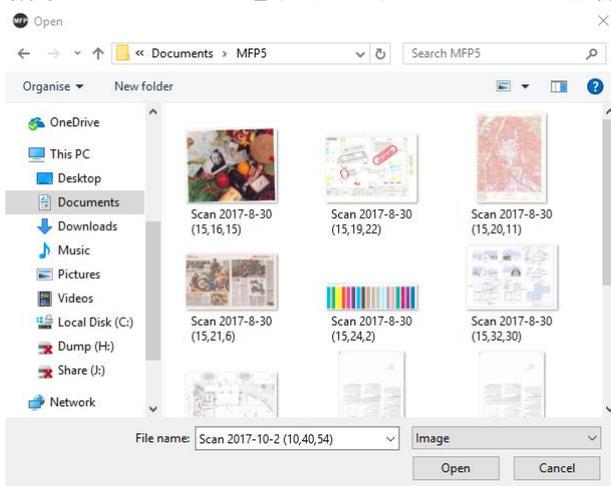


プリントオプション



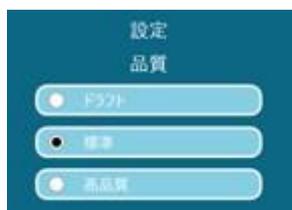
ファイルの選択:

1. 編集やプリント出力をする Tiff、または JPEG 画像ファイルを選択します。



品質：ドラフト、標準、高画質

スキャン時の品質(解像度)です。コピー時の印刷品位と連動します。
各設定ごとのスキャン解像度の変更はプリセットの編集で行えます。



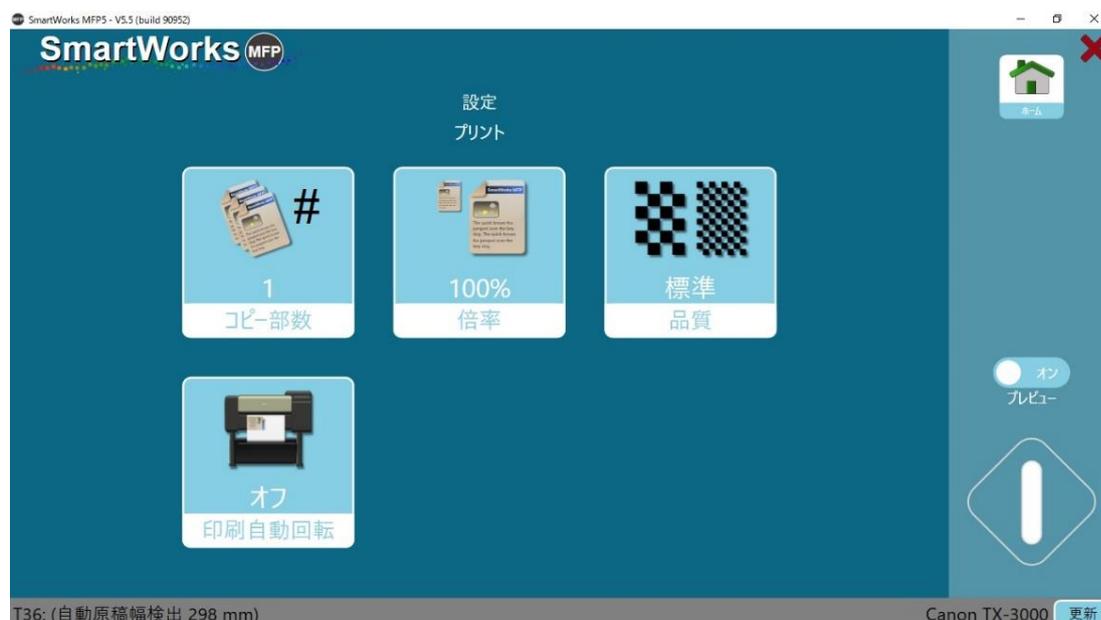
コピー部数：1部から最大100部



倍率：ロールサイズに合わせて印刷、1%から 500%まで倍率を指定、原稿サイズ / 出力サイズを定型サイズで指定することができます。



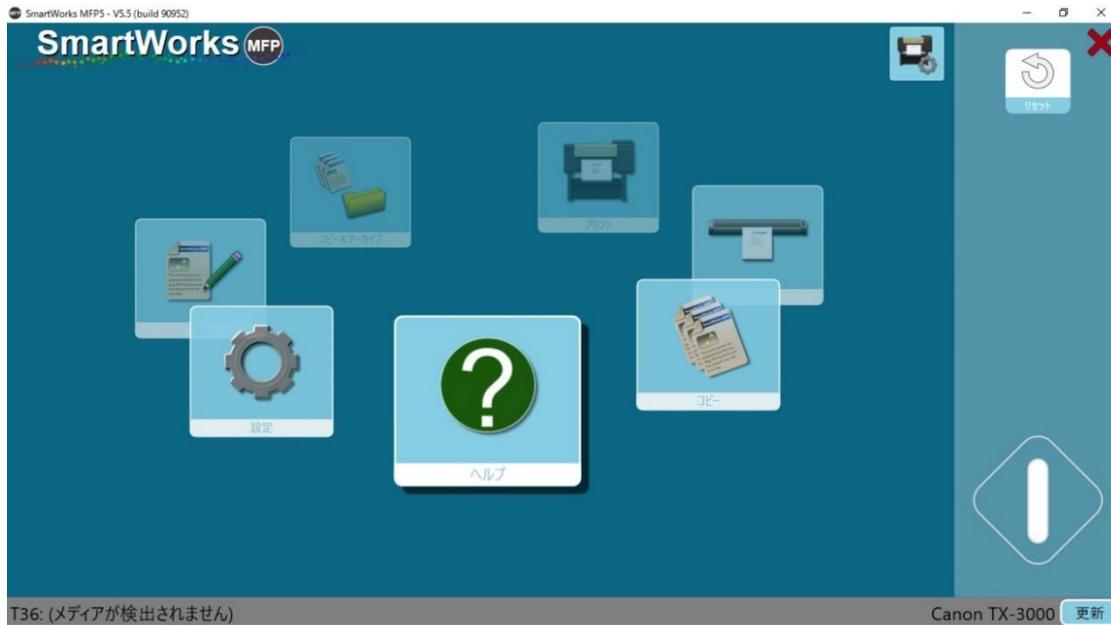
プリントオプション - ページ 1:



印刷自動回転：プリンターに搭載しているロール紙の印字可能幅より画像の長辺側が短い場合に、自動で画像を回転します。

- 「印刷自動回転」を実行する前にどのロールが使用可能かを確認します。
 - ・ 「ロールナンバーで選択する」: そのロールのみが選択されます。
 - ・ 「メディアの種類で選択する」: そのメディアが搭載されているロールを選択します。
- 縦置きでのスキャンは、可能な場合は横置きに回転します。(できるだけ横置きでスキャンすることをお勧めします)
- 横置きでのスキャンには自動回転は適用されません。
- ロールの幅に合わせてプリントするように倍率を設定した場合、自動回転は適用されません。

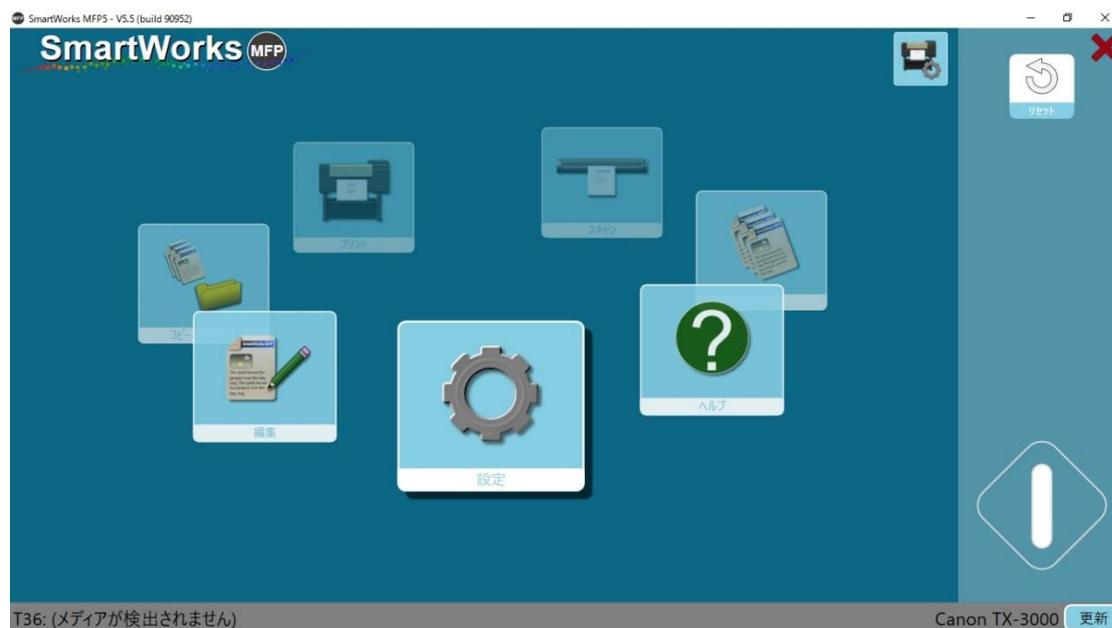
ヘルプ



ホーム画面で「ヘルプ」をタップすると取扱説明書(当文書)が表示されます。

※英語版の取扱説明書が表示される場合は、[「使用する言語」の設定](#)で、「日本」を指定して下さい。

設定



ホーム画面で「設定」のアイコンをタップし、各種設定の画面にアクセスします。



プリンターの設定：使用するプリンターを選択する

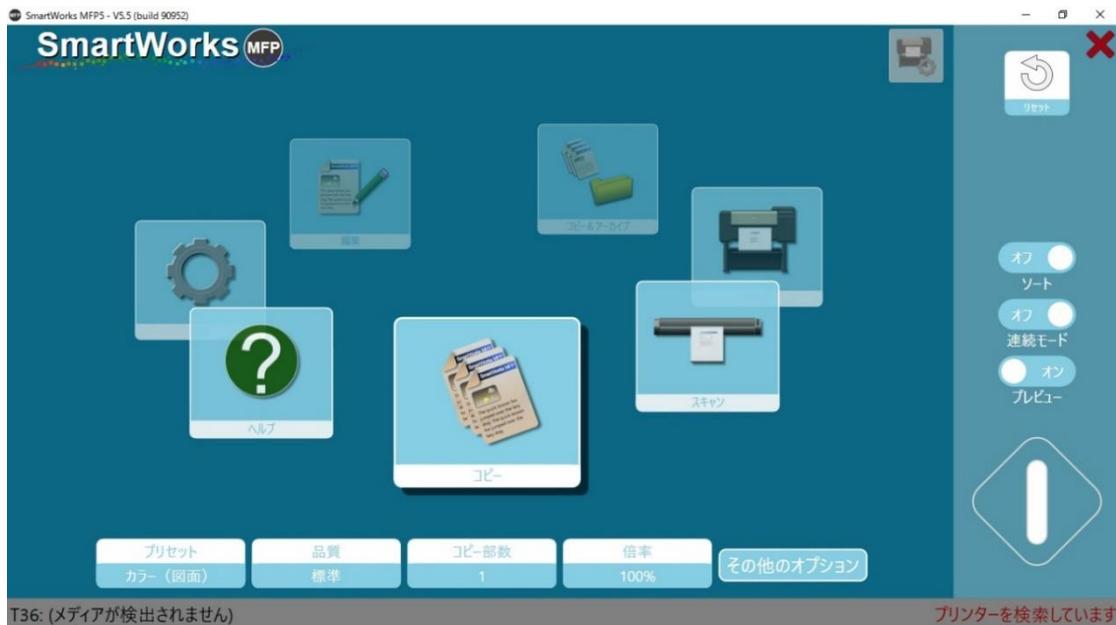
SmartWorks MFP がプリンタードライバーと接続されていない場合にプリンターの設定が必要になります。「プリンターの設定」をタップすると使用できるプリンタードライバーのリストが表示されます。



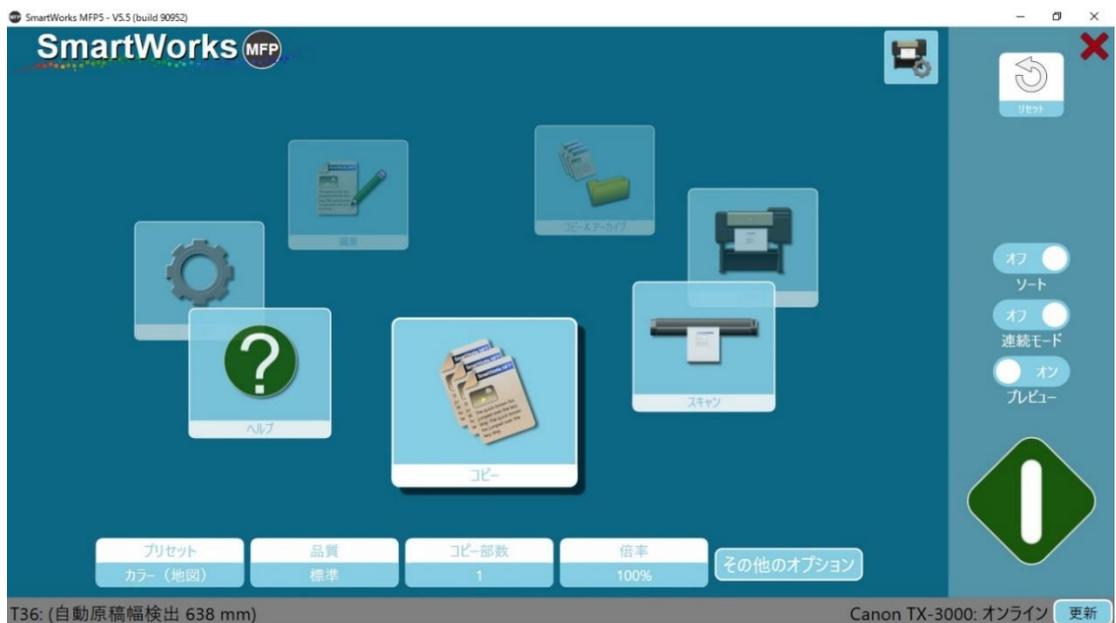
リストの中から Windows のプリンタードライバーに対応する使用したいプリンターを選択し、OK をタップします。



ソフトウェアがプリンターを検索し、通信を開始します。
 プリンターはネットワークに接続されていることを確認して下さい。



プリンターが検知されるとプリンターのモデル、またはプリンター名が表示されます。



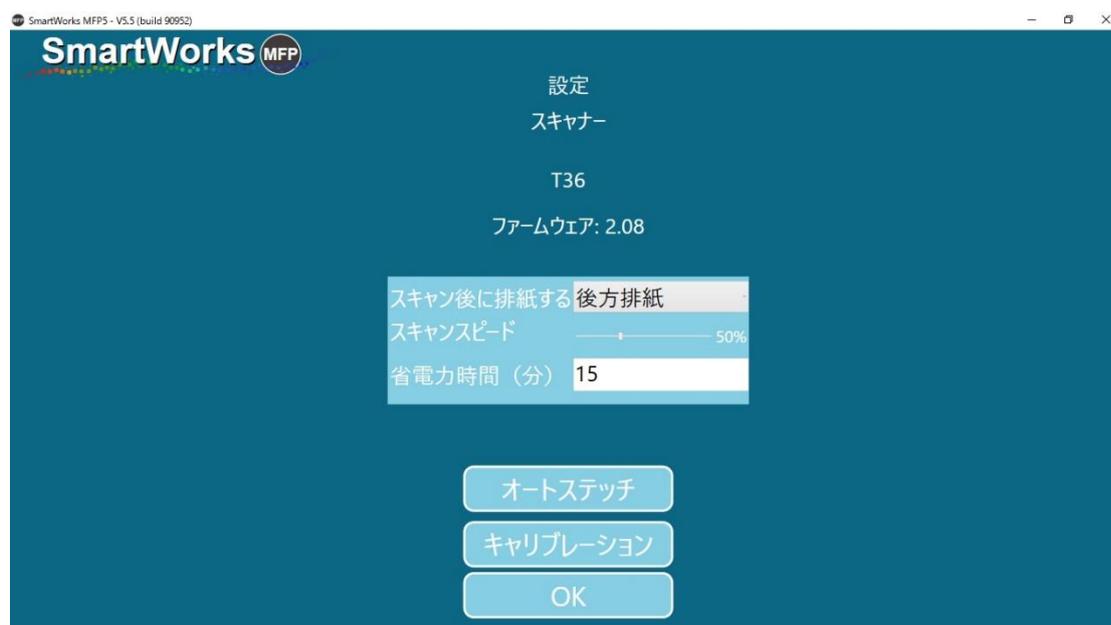
スキャナーオプション

スキャン完了後に原稿をスキャナー後方から排紙、または前方に巻き戻すかの選択ができます。
 (「連続モード」を選択すると自動で「後方排紙」が設定されます。)

スキャンスピードは次のように設定することができます。

※100% = フルスピード、50% = ハーフスピード、33% = 1/3 のスピード、25 = 1/4 のスピード
 デリケートな原稿をスキャンする時、またはスキャンが滞ったり、止まったりする場合は遅めのスピード設定でスキャンすることをお勧めします。デフォルトは 50% です。

「省電力時間(分)」はスキャナーに動作がなく、スキャナーがスリープモードに移行するまでの時間を示します。デフォルトでは 15 分と設定されています。最長 60 分まで設定できます。

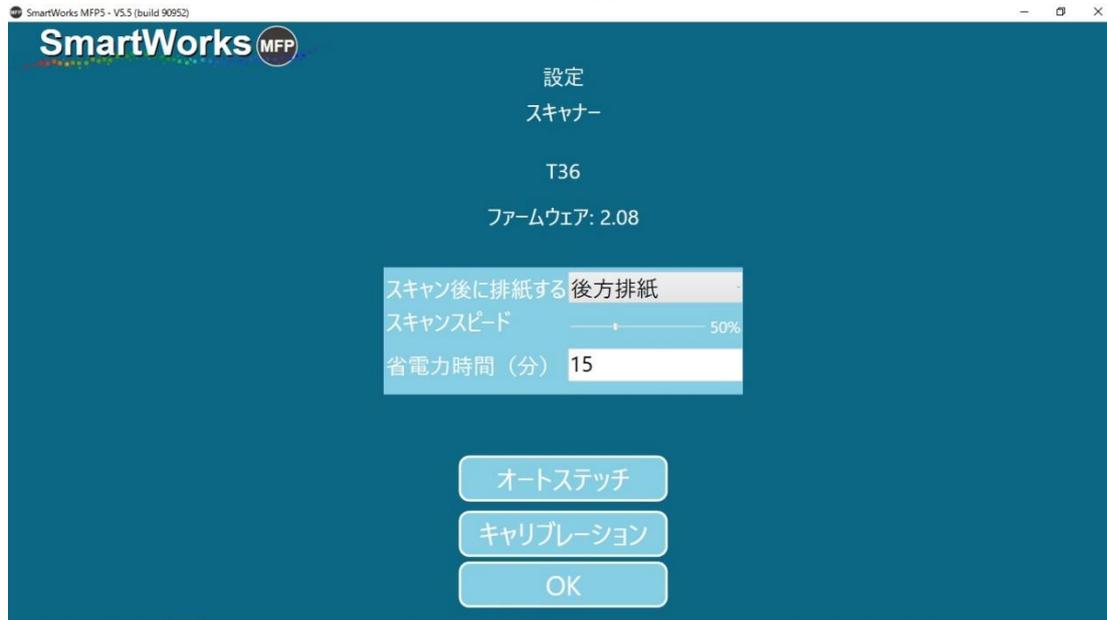


スキャナーのキャリブレーション

キャリブレーションを行う前に必ずスキャンガラスとローラーがきれいな状態であることを確認して下さい。汚れがついている状態でキャリブレーションを行うとスキャン画像に影響します。
 必ずスキャナー背面のペーパーリターンガイドを取り外してください。



下記の画面が表示されたら「キャリブレーション」をタップします。



スキャナーにキャリブレーションシートをセットします。
 白と黒の面を上にして黒い側からスキャナーに挿入し、OK をタップします。



キャリブレーションシートは数回スキャナーの中を前方または後方に搬送されます。



キャリブレーションは数分で完了し、ソフトウェアは自動的にホーム画面に戻ります。

スキャナーの「巻き戻し」ボタンを押してキャリブレーションシートをスキャナーから取り外します。キャリブレーションシートを元のケースに戻し、折れたり傷が付いたりしないような場所に大切に保管してください。

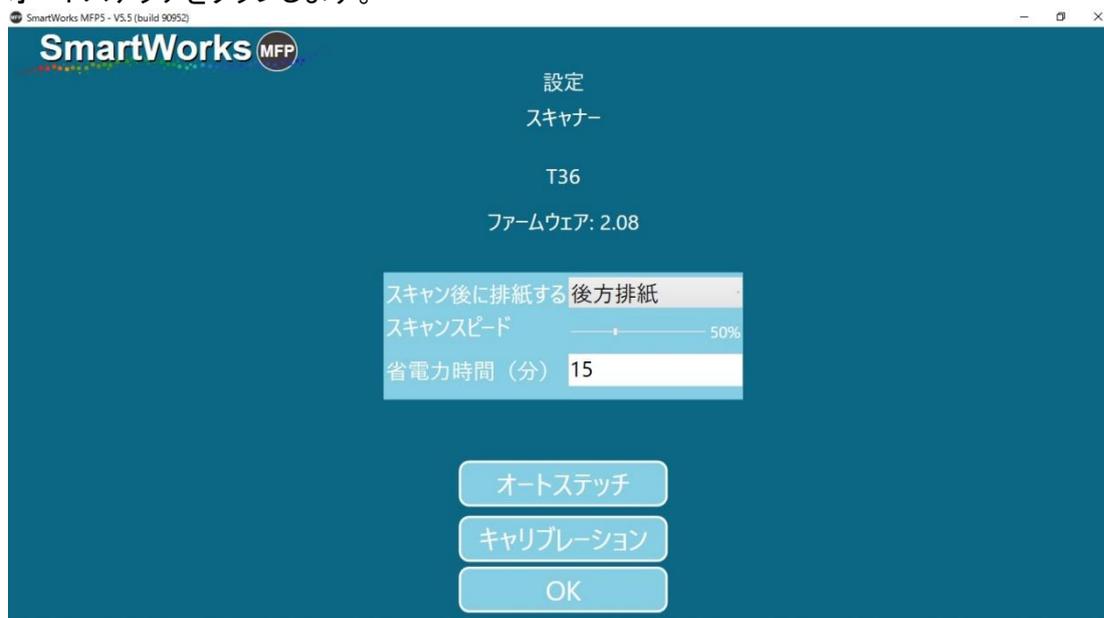
【注意】キャリブレーションシートは製品に同梱されています。メンテナンスの際に必要ですので紛失しないようご注意ください。

オートステッチ

オートステッチを行う前に必ずキャリブレーションを実施してください。必ずスキャナー背面のペーパーリターンガイドを取り外してください。



オートステッチをタップします。



スキャナーにキャリブレーションシートをセットします。
 白と黒の面を上にして黒い側からスキャナーに挿入し、OKをタップします。



キャリブレーションシートは数回スキャナーの中を前方または後方に搬送されます。



ステッチ調整は数分で終了し、ソフトウェアは自動的にホーム画面に戻ります。

スキャナーの「巻き戻し」ボタンを押してキャリブレーションシートをスキャナーから取り外します。キャリブレーションシートを元のケースに戻し、折れたり傷が付いたりしないような場所に大切に保管してください。

【注意】キャリブレーションシートは製品に同梱されています。メンテナンスの際に必要ですので紛失しないようご注意ください。

プログラム環境設定

ページ 1



ホーム画面 表示される機能アイコン

ホーム画面に表示されるアイコンの表示または非表示を選択することができます。各アイコンの上でタップし、**オン・オフ**を決定します。「設定」のアイコンは非表示にすることができません。デフォルト設定では全てのアイコンが表示されます。

表示される用紙サイズ画面

用紙サイズの規格ごとの表示または非表示を選択できます。アイコンの上でタップし、**オン・オフ**を決定します。不要な用紙規格を表示しないことで、用紙サイズ選択画面のリスト数が整理されます。デフォルト設定では全ての規格の用紙サイズリストが表示されます。

プレビュー

プレビューの設定を**オン**、または**オフ**にします。デフォルトでは**オン**になっています。

作業終了時に PC を閉じる

オフ = プログラムのみを終了し、コントローラーはシャットダウンしません。(デフォルト設定)

オン = プログラムを終了し、コントローラーもシャットダウンします。

連続モード

オン = スキャナーに原稿が挿入されるとスキャンを開始します。緑の開始アイコンをタップして一枚目の原稿をスキャンします。次のページからはスキャナーに原稿を挿入すると自動でスキャンを行います。青のアイコンをタップするとスキャンを終了します。

オフ = スキャン毎に緑のアイコンをタップしてスキャンを開始します。(デフォルト設定)

ページ 2

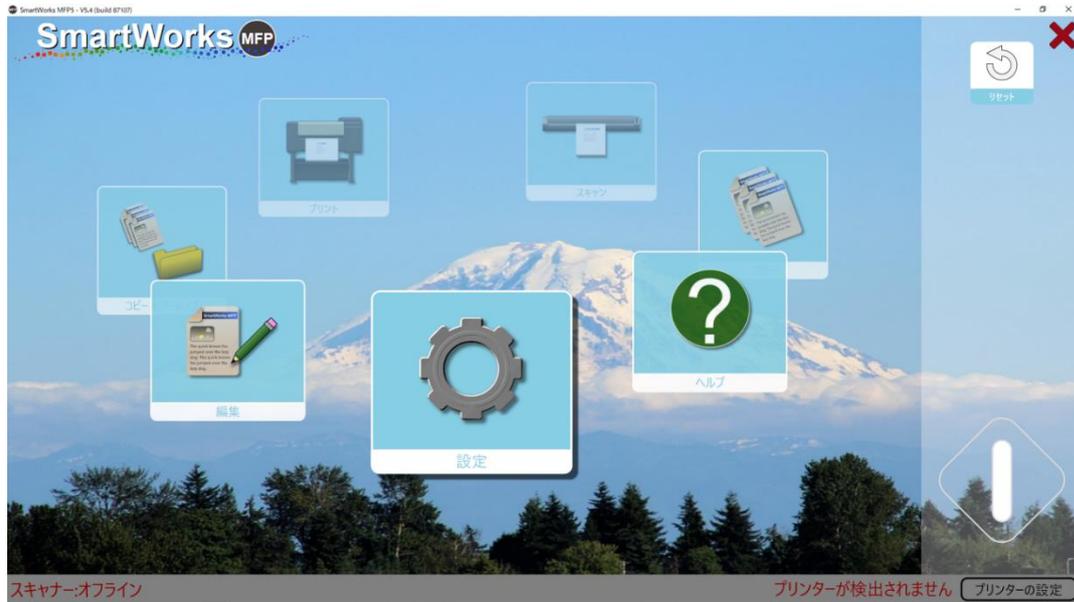


カスタマイズ

お好みのテーマの色をリストから選択し、「適用」をタップします。ユーザーアカウントが有効な場合、ユーザー毎に設定することができます。(デフォルト設定はテーマ 1)

また画面のバックグラウンドに JPEG の画像を貼り付けることができます。「背景画像の選択」をタップして画像を選択し、「適用」をタップします。画像はスクリーン一面にフィットするようにデザインされています。画像が画面と同じ表示スケール(16:9)であることを確認して下さい。





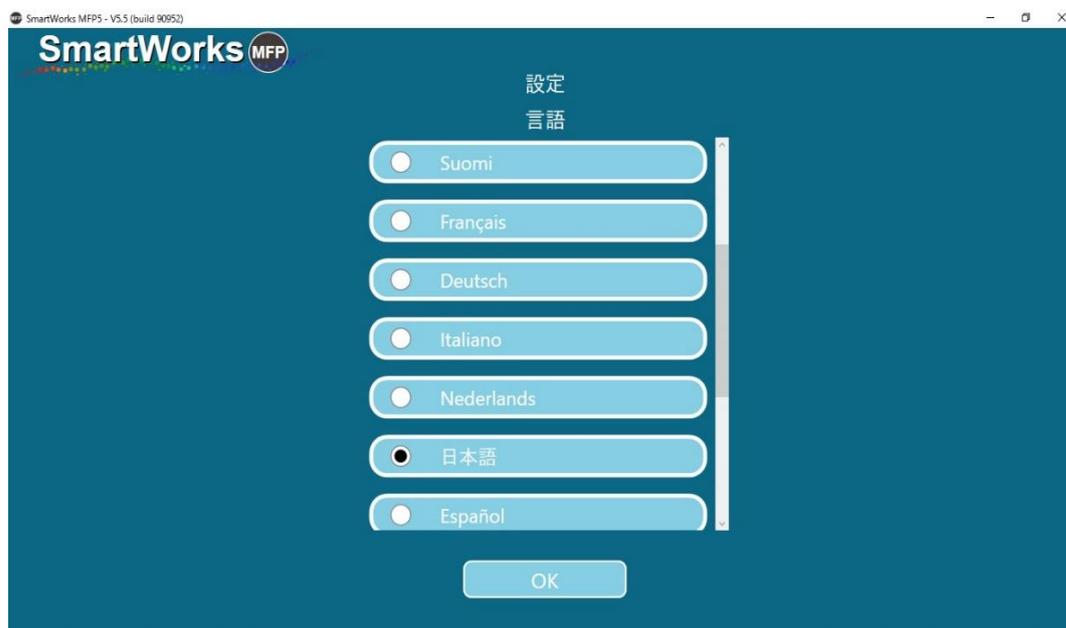
ソフトウェアリセットタイム

ソフトウェアが一定の時間使用されない場合に、プログラム環境設定のデフォルト値にリセットし、ホーム画面に戻るまでの時間を設定します。ユーザーアカウントでログインしている場合、現在使用しているユーザーがログアウトされます。(デフォルト設定は 2 分)



言語

使用する言語を選択します。



長さの単位

長さの単位を選択します。デフォルトでは mm に設定されています。

ホームページ

ホームページを選択します。デフォルトではカラーセルに設定されています。

プリセット

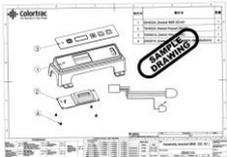
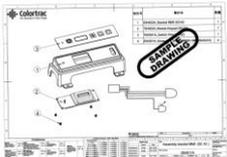
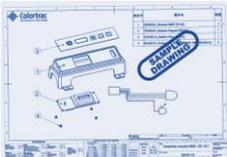
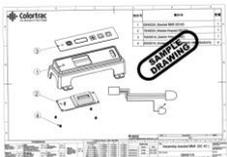
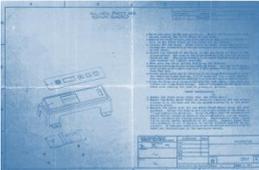
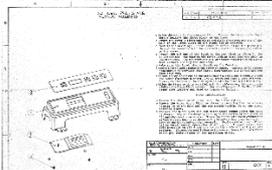
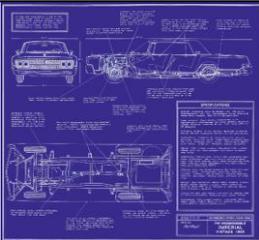
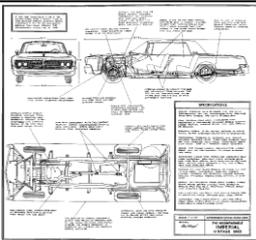
各プリセット名にそれぞれの原稿の種類がデフォルトで設定されています。選択したプリセットのカラーとコピー時のカラーモードが連動します。

カラー/グレースケール

プリセット名	原稿の種類	プリセット名	原稿の種類
カラー写真 ポスター		モノクロ写真	
カラー(地図)		グレイ(地図)	
カラー(図面)		グレイ(図面)	

白黒2値

白黒タイプの原稿プリセットを選択した場合、青焼きや青写真は白背景に黒線のモノクロ図面に
変換されます。原稿イメージのまま保存・コピーしたい場合は、カラータイプのプリセットを選択して
ください。

	原稿の種類	スキャン画像/コピー 結果
白黒図面		
白黒(青焼き)		
白黒(濃い青焼き)		
白黒反転(青写真)		

注記: 「設定」の中の「プリセットの編集」で「表示」をオンに設定しないと表示されないプリセットがあります。

- スキャンプリセットの RAW TIFF は、特殊用途向けにカラーマネジメント無しの TIFF 形式でファイルを保存します。

プリセット：デフォルト / 表示 / コピー / 編集



設定の変更、または削除したいプリセットを選択します。

作成されたカスタムプリセットは「プリセットのインポート」または「プリセットのエクスポート」オプションをタップし、システム間で共有することができます。

例: コピープリセット



現在有効なプリセットのリストが表示されます。

デフォルト:

デフォルトの列で丸印が緑になっているプリセットが電源を入れた時、またはタイムアウトによるリセット時にデフォルトとして設定されるプリセットです。別のプリセットをデフォルト設定にしたい場合、設定したいプリセットを選択し、デフォルトの白い丸印にタッチします。タッチした丸印が緑に変わり、そのプリセットがデフォルトとして設定されます。

表示:

表示する必要のないプリセットを非表示にし、プリセットのリストを見やすくすることができます。プリセットの表示、非表示の設定は「表示」にある「オン」「オフ」をタッチします。デフォルトとして設定しているプリセットの表示は必ず「オン」にしてください。プリセットを非表示にすることでプリセットが削除されることはありません。いつでも再表示することができます。

ユーザー / 汎用:

ユーザーアカウント制御が有効な時、どのユーザーがどのプリセットを使用することができるかを定義します。

固定 = 工場出荷時の設定プリセットで削除することができません。表示設定「オフ」にすることで非表示にすることができます。

汎用 = プリセット表示が「オン」になっている場合、どのユーザーも使用できます。

ユーザー = プリセットを作成したユーザーのみが使用できます。

お気に入りプリセット:

よく使うプリセットの星印をタップするとリストのトップにそのプリセットを配置できます。

プリセットのコピー(新規プリセットの作成)

新しいプリセットを作成するときは先ず現在あるプリセットをコピーします。新しく作成するプリセットのカラーモード(カラー、グレースケール、白黒)に合うプリセットをコピーします。

コピーしたいプリセットをタップして選択します。「コピー」のアイコンをタップすると同じ名前のプリセットに数字が付いたプリセットが表示されます。プリセット名は変更できます。

例:「カラー(図面)道路」



プリセットの削除：

削除したいプリセットをタップし、選択します。「削除」アイコンをタップすると選択されたプリセットは削除されます。

- 削除したプリセットを再度表示することはできません。
- 固定プリセットは削除できません。

プリセットの編集：

編集したいプリセットをタップし、選択します。「編集」アイコンをタップします。

- 固定プリセットは編集することができません。
- 編集できる設定はスキャン、コピー、コピー&アーカイブの機能によって異なります。



プリント設定



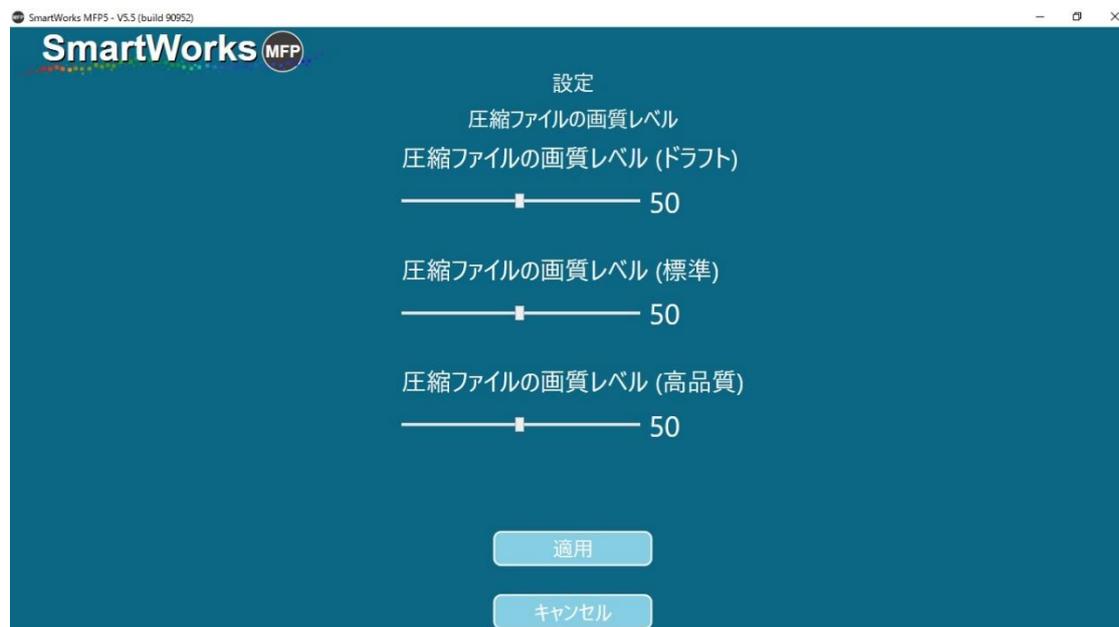
コピー部数、倍率、図枠のトリミング、自動回転印刷、印刷目的の設定を変更することができます。

ファイルの設定

ファイル名の先頭文字、スキャンフォルダー、クラウドスキャン、スキャン to E メール、原稿サイズ、ファイル形式、JPG と PDF ファイルのファイル圧縮方法などの設定を変更することができます。



JPG と PDF ファイルの圧縮は品質モードごとに合わせて設定することができます。数値が低い程小さいサイズのファイルを作成しますが画質は低くなります。



スキャン設定

スキャンの解像度 (dpi) をそれぞれのモード毎 (ドラフト、標準、高品質) に変更することができます。最大で 1200dpi まで設定できます。

(デフォルト設定 : ドラフト = 200dpi、標準 = 300dpi、高品質 = 600dpi)

選択した品質がコピー時の印刷品位と連動します。

注意 : スキャン解像度を必要以上に高く設定すると画像ファイルが非常に大きくなります。そのため画像処理時間が長くなり、クラウドとの通信が遅くなったり、ファイルフォーマットの制限値や OS の最大値に達してしまう可能性がありますのでご注意ください。

スキャンデータと使用するレンダリングインテントの設定ができます。



フィルターの設定



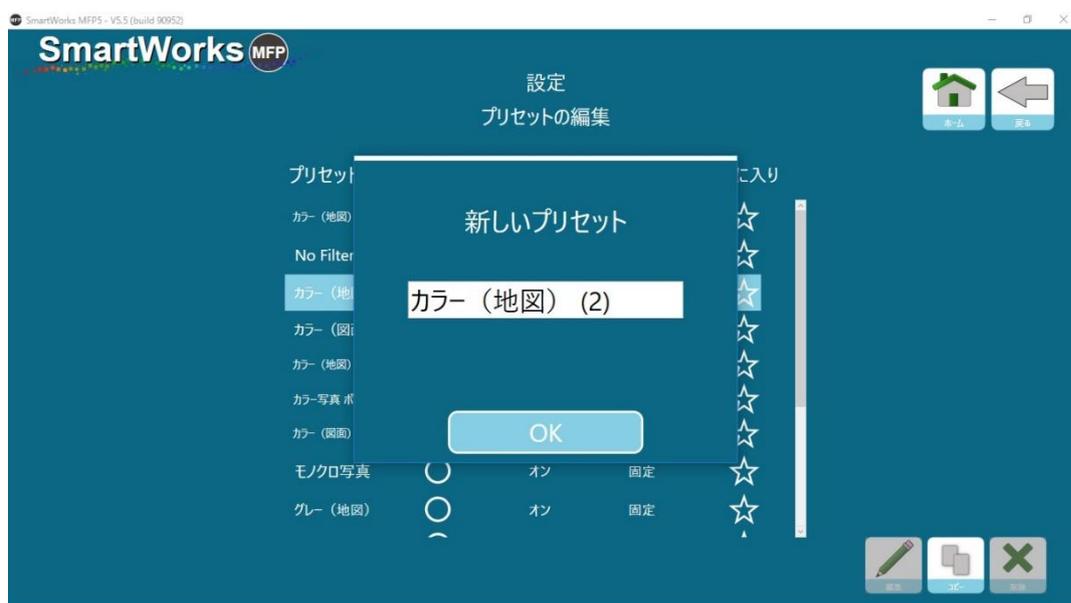
シャープネス、白黒ポイント、明るさとコントラスト、赤、緑、青、輪郭強調、白黒ポイント、自動白黒ポイントの設定を変更することができます。

プリセット：新しいプリセットを保存する

プリセットの設定を変更した場合、そのプリセットに名前を付けて新しいプリセットとして保存することができます。

設定画面から：

「プリセット」をタップし、プリセットの画面が表示されたら想定に近いプリセットをタップします。「コピー」をタップし、新しいプリセットに名前を付けて OK をタップします。



プレビューの画面から：

画像をプレビュー画面で確認し、「新しいプリセットを保存」をタップします。新しいプリセット名を入力しOKをタップします。



ユーザーアカウント

ユーザーアカウント制御が有効の場合、ユーザー名やパスワードによる認証を行い、権限に応じた操作を行えます。ユーザーアカウントは最大 20 名まで設定できます。

	管理者	パワーユーザー	ユーザー
カスタマイズ	○	○/× (管理者による設定)	○/× (管理者による設定)
プリセットの編集	○	○	×
スキャンパスの設定	○	○/× (管理者による設定)	○/× (管理者による設定)
プリンター設定	○	○	×
ユーザーアカウント制御	○	×	×
Email ログイン情報の設定	○	○/× (管理者による設定)	○/× (管理者による設定)

管理者

全ての制御をコントロールできる管理者を一人設定します。管理者は他のユーザーの制御範囲を設定できます。また管理者はパワーユーザーが作成したプリセットを全て閲覧することができ、それらプリセットを他のユーザーが使用できるように汎用プリセットに切り替えることができます。管理者は全ての設定画面にアクセスすることができます。



パワーユーザー

パワーユーザーは設定できる項目に制限があります。パワーユーザーはプリセットを作成したり、または自身で作成したプリセットの変更ができます。(自身で作成したスキャンパスの設定の変更も含まれます)



プログラム環境設定: 「ホーム画面に表示されるアイコン」、「表示される用紙サイズ」、「設定」を固定にするか、パワーユーザーが編集できるようにするかを管理者が定義します。これら設定が全て「固定」の場合、パワーユーザーが変更できるのは下記の項目のみにになります。

- ソフトウェアリセットタイム、単位、言語、ホーム画面





ユーザー

ユーザーが変更できるプログラムの設定は最小に限られています。ユーザーがアクセスできる設定の画面も制限されています。

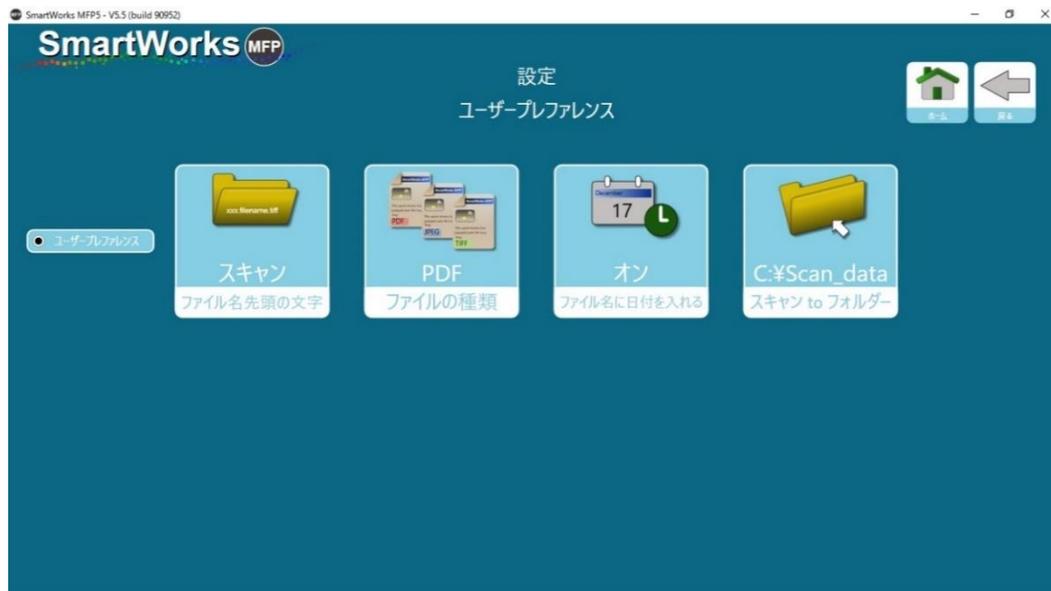


プログラム環境設定: 「ホーム画面に表示されるアイコン」、「表示される用紙サイズ」、「設定」を固定にするか、パワーユーザーが編集できるようにするかを管理者が定義します。これら設定が全て「固定」の場合、ユーザーが変更できるのは下記の項目のみになります。

- ソフトウェアリセットタイム、単位、言語、ホーム画面



ユーザーが「プリセット」でアクセスできる設定は「スキャンファイル名の先頭文字」、「ファイル形式」、「ファイル日付スタンプ」、「スキャンパスの設定」のみになります。この設定はそのユーザーのみに有効です。



ユーザーアカウントの作成

「設定」を選択します。

「ユーザーアカウント」の画面から入り、「ユーザーアカウント」のアイコンをタップしてオンにします。

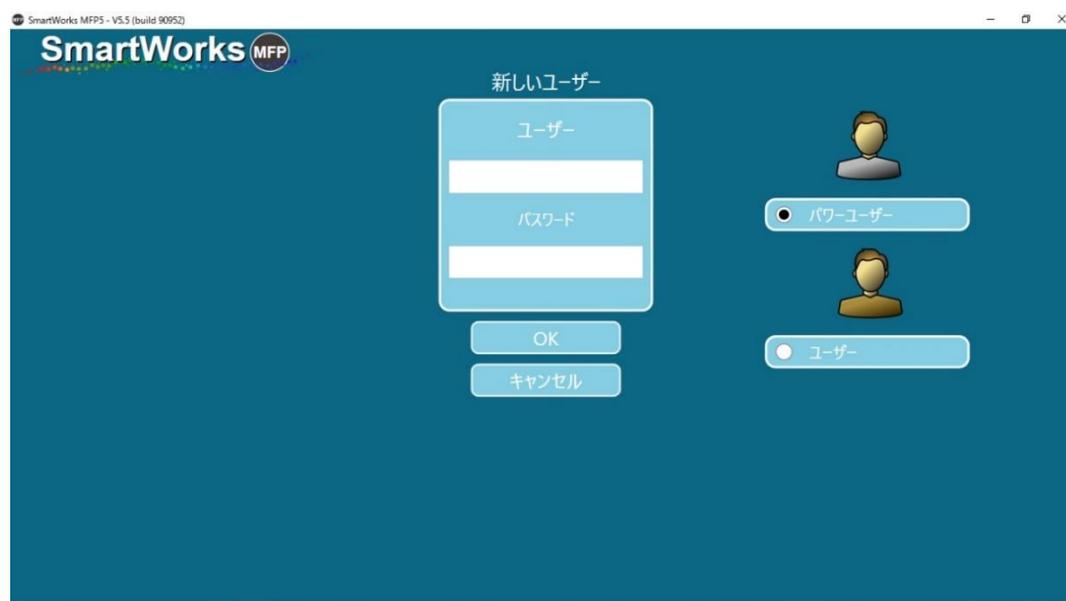


ユーザーアカウントを初めて有効にした時に管理者のユーザー名とパスワードを入力するように指示されます。管理者は一人に限られています。

注意：管理者名とパスワードは必ず控えておいてください。ユーザーアカウントを変更したり、無効にしたりするのに必要になります。



管理者ユーザーを作成したら他のユーザーをそれぞれパワーユーザー、またはユーザーとして追加します。(最大 20 名)
 ユーザーには個別のユーザー名とパスワードを設定します。



ログインの詳細

下記の例では管理者 1 名、パワーユーザー 2 名、ユーザー 2 名がそれぞれ一文字のユーザー名と数字一桁のパスワードが付けられています。

このソフトウェアを使用するにはユーザー名とパスワードが必要になることを示しています。ユーザー名のみ、またはパスワードの入力のみで簡単にログオンできるように設定することも可能です。



この画面を離れるときにログオンすることを求められます。ここではユーザー名とパスワードの両方、またはどちらか一つ(ログオンの詳細で設定したように)の入力が必要になります。



ユーザーアカウントでログオンした場合、ログオンしているユーザー名とログアウトの方法の選択ができるアイコンがホーム画面の下に表示されます。各ユーザーは使用后必ずログアウトして使用したセッションを閉じることをお勧めします。ソフトウェアが使用されず、タイムアウトリセットの時間になった場合、(デフォルトでは2分に設定されています)ソフトウェアはリセットして現在のユーザーをログアウトし、ユーザーログオンの画面に切り替わります。



ユーザーレベル設定オプション

管理者としてログインするとパワーユーザーやユーザーに違う権限を設定することができます。

設定：プログラム環境設定、新しいオプションが表示され、「ホーム画面に表示されるアイコン」、「表示される用紙サイズ」、「設定」を固定にするか、パワーユーザーが編集できるようにするかを管理することができます。

全てのユーザー用の設定：この設定が管理者によって有効にされるとユーザーによる設定の変更ができません。

パワーユーザー用の設定：この設定が管理者によって有効にされるとパワーユーザーによる設定の変更ができません。



設定画面：管理者プログラム設定 / Eメール

管理者はEメールログイン情報をデフォルトのままに設定するか、またはユーザーによる変更を許可するかどうかを設定することができます。



SmartWorks MFP5 - V5.5 (build 90952)

設定
Eメール

簡易メール転送プロトコル(SMTP)

SMTPサーバー
 ポート番号
 SSLを使用

SMTPデフォルトログイン情報

メールアドレス
 パスワード
 パスワードを保存

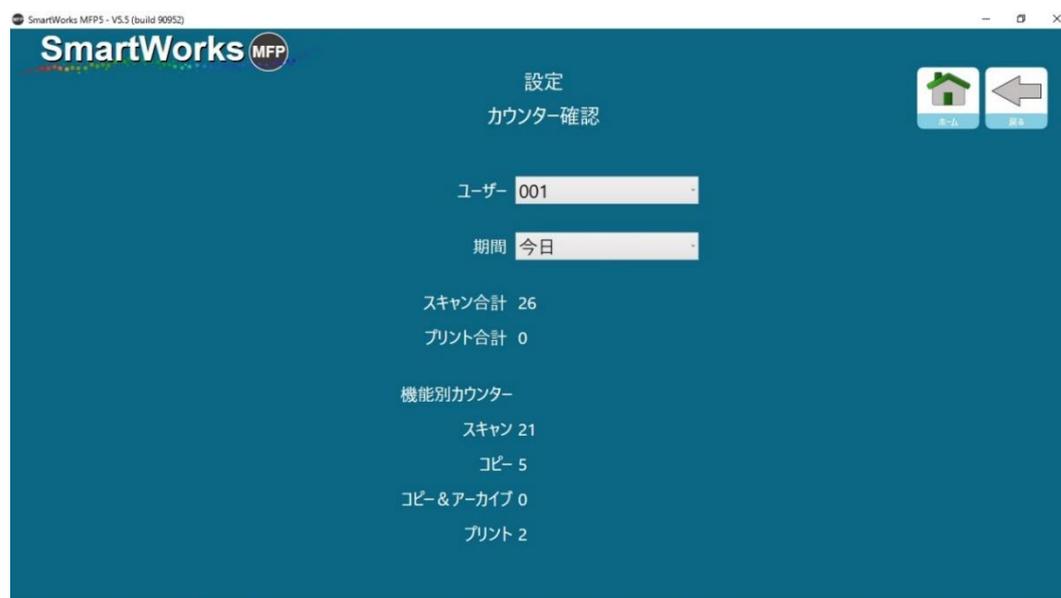
メッセージ設定

件名
 本文
 最大添付サイズ (MB)
 添付ファイルの自動サイズ縮小

OK キャンセル

カウンター確認

ユーザー毎に一定の期間(週、月、年)または指定した期間内のシステムの使用回数を表示することができます。



SmartWorks MFP5 - V5.5 (build 90952)

設定
カウンター確認

ユーザー
 期間

スキャン合計 26
 プリント合計 0

機能別カウンター

スキャン 21
 コピー 5
 コピー&アーカイブ 0
 プリント 2

管理者プログラム設定



Eメール

SmartWorks MFP はローカルメールクライアントを使用せず、リモートメールサービスを使用します。使用するメールサーバーの SMTP サーバー、ポート番号を入力します。(例: ネットワークの管理者から専用のメールアドレスを取得し、SmartWorks MFP が SMTP サーバーにアクセスすることを許可してもらうように依頼します。)メール設定が正しくない場合、または SmartWorks MFP からのメール送信をメールサーバーでブロックされた場合はエラーメッセージが表示されます。

注記: SmartWorks MFP がメールサーバーにアクセスできるように E メールサービスで設定の変更が必要になる場合があります。例:「安全性の低いアプリ」をオンにし、「2 段階検証」を無効にします。



メールアドレスとパスワードを入力します。「パスワードを保存」にチェックが入っていない場合、スキャン to E メールをするたびにパスワードの入力を求められます。

最大添付サイズ: Eメールに添付したデータが最大サイズを超えた場合、設定されたサイズ以下になるようにソフトウェアが自動で縮小します。(最大ファイルサイズのデフォルト=10MB)

この機能は TIFF、PDF、JPEG のみをサポートします。MPDF、DWF ファイル形式には対応しません。(これらファイル形式にはファイルの圧縮機能がありません。ファイルサイズが最大添付サイズを超えた場合、警告のメッセージが表示されます。)

同時にディスクに保存されるファイルは変更されません。

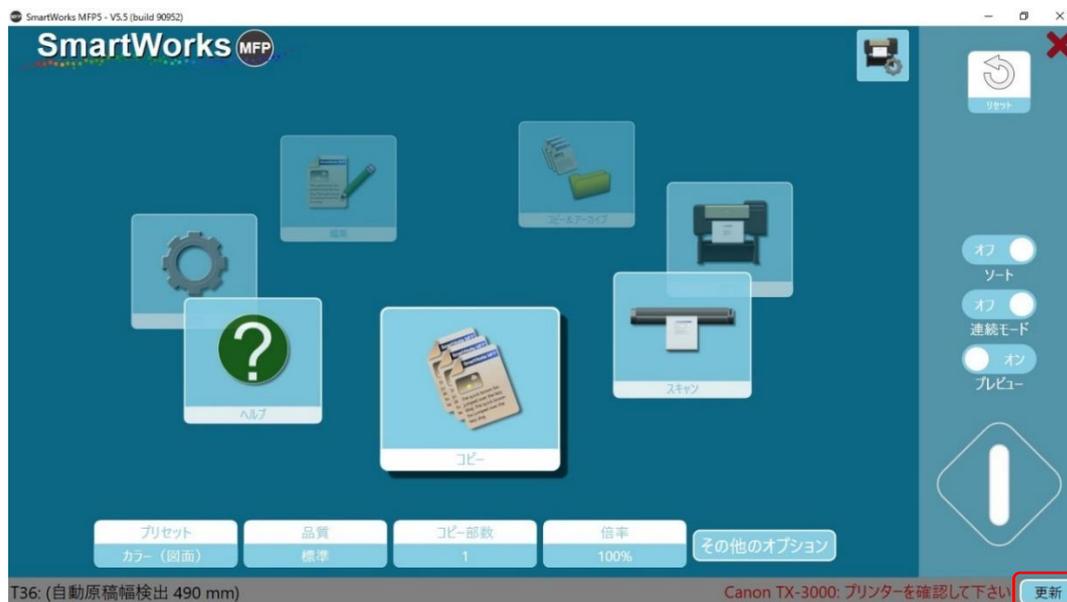
スキャン to Eメールにはバッファネットワークモード(デフォルト設定)を使用することをお勧めします。

プリンターステータス

SmartWorks MFP ソフトウェアはプリンターとの定期的な通信を行い、プリンターのステータスを取得します。これはデフォルトで設定されています。この通信がネットワーク上で支障をきたす場合、「プリンターステータス」をオフにしてこの通信の設定を解除することができます。その場合、プリンターのステータスは下記の時にのみ取得します。

- プログラムが開始された時
- 緑のボタンがタップされた時
- 更新ボタンがタップされた時

設定をオフにした場合、画面に表示されるプリンターのステータスは最新ではなくなります。



ネットワークモード

SmartWorks MFP ソフトウェアはスキャンされた画像を指定されたフォルダーに保存します。画像をネットワーク上のリモート PC のフォルダーに保存する場合、画像ファイルのサイズ、ネットワークの速度、または帯域幅によって保存にかかる時間が長くなる場合があります。

ネットワークモード = バッファ (デフォルト設定)

フォルダーがネットワーク上のリモート PC にある場合、スキャンデータはコントローラーに一時的に保存されます。スキャンやプレビューでの編集が完了するとソフトウェアは「お待ちください」のメッセージを表示し、全てのスキャンファイルをネットワーク上の PC に一括転送します。実際のスキャン作業や画像編集作業がネットワークの状況に影響されることを回避できます。スキャン to E メールにはバッファネットワークモード (デフォルト設定) を使用することをお勧めします。



ネットワークモード = ダイレクト

ソフトウェアは指定されたフォルダーに直接データを転送します。データの転送中にソフトウェアのレスポンスがなく、スキャン作業や画像編集作業が滞る可能性があります。

スキャン to フォルダー

デフォルトのスキャンフォルダーを設定します。

使用するスキャンフォルダーは次の優先順位によって定義されます。(この情報はホーム画面で確認できます)

1. ユーザーアカウントが有効な場合:

ユーザーが使用するスキャンフォルダーを選択できます。



管理者、またはパワーユーザーは使用しているプリセットに一時的に別のフォルダーを選択することができます。その場合、プリセット名の後に「*」印が付きます。(例: Color Graphics *) 一時的なフォルダーの変更は別の機能を選択した時、またはプログラムのタイムアウト時にキャンセルされます。



2. 管理者、またはパワーユーザーが作成したプリセットに特定のスキャンフォルダーが設定されている場合: (例: スキャンフォルダーが Preset->Setting->File settings の中で設定されている)



3. デフォルトのスキャンフォルダーが「設定」-「プログラム環境設定」の中で定義されている場合:



4. スキャン時に指定したスキャンフォルダーを使用できない場合、ソフトウェアはユーザーのローカル PC にあるピクチャーフォルダーを使用します。

スキャナーをより効果的にお使いいただくために

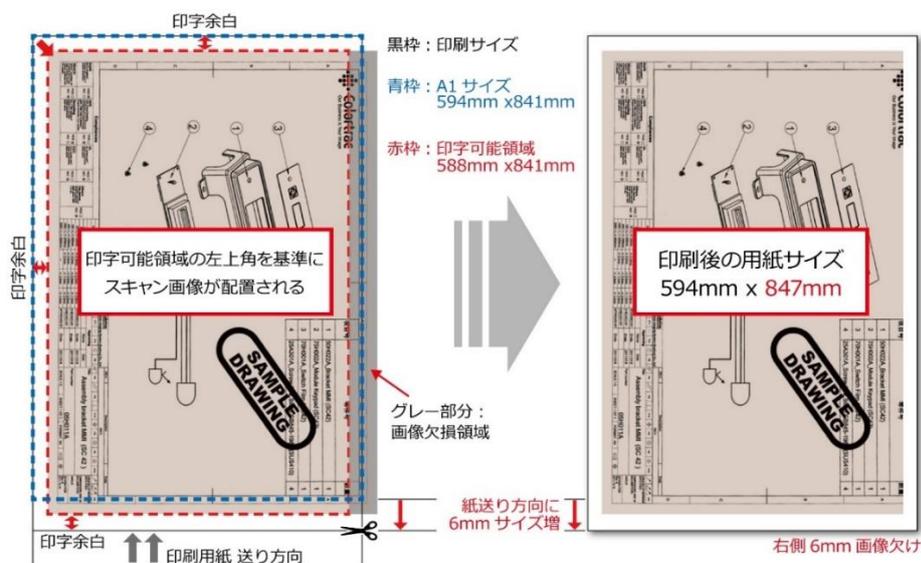
画像の端が切り取られるのを防ぐ方法

「枠のトリミング」機能を使用し、プリント出力時に画像の端が欠損することを防ぐことができます。

枠のトリミング例：A1の定型サイズでスキャンし、A1ロール紙にプリントする場合

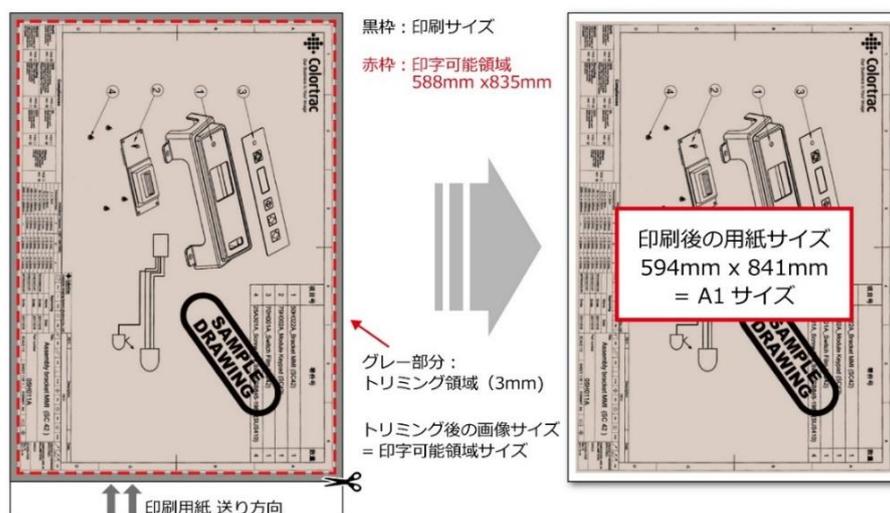
●トリミング・オフ

プリント時に出力用紙の余白3mm分スキャン画像が移動します。このため横方向で6mmの画像欠損(右側)とタテ方向で6mm用紙サイズが大きくなり、出力サイズは594mm×847mmとなります。



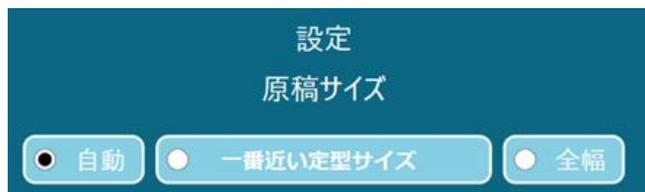
●トリミング・オン

プリントする前にスキャン画像の四方の3mmをトリミングし、A1サイズ594mm×841mmでプリントします。



原稿サイズと原稿向きのオプション

- 用紙サイズ



- **自動サイズ**：スキャナーが自動で原稿の幅と長さを検知します。原稿がスキャナーの中を通紙する際に 原稿の両端を検知しますが原稿の種類や通紙の状態(特に斜行した場合)によっては両端の検知が正しく行われな場合があります。1ピクセルでも実際のサイズより大きく検知された場合には指定した用紙にプリントせず、一サイズ大きなロール紙にプリントすることがあります。(複数のロール紙がセットされている場合)
- **一番近い定型サイズ**：この機能を有効にすると一番サイズが近い ISO、ANSI、ARCH 定型幅サイズを認識し、その幅に自動で設定します。中央のペーパーセンサーが原稿を検知できれば原稿はスキャナーの原稿挿入口のどこにでもセットできます。スキャンされた画像は定型幅サイズになります。必要以上に大きなロール紙にプリントされるリスクを回避できます。
- **全幅**：原稿がスキャナーの中を通紙する際に 原稿の両端をスキャナーが検知しますが、原稿がスキャナーの最大幅とほぼ同じであったり、フィルムのような透過原稿であった場合には、スキャナーによる原稿幅の検知が正しく行われな場合があります。そのような場合には「全幅」オプション(25 インチ、または 36 インチ)を使用し、プレビュー画面で切り抜き編集を行ってください。

- 倍率



- **ロールサイズに合わせて印刷**：プリンターに搭載しているロール紙の最大幅に合わせて画像サイズを自動で調整します。
- **%**：画像は指定された倍率で拡大、縮小されます。
- **ISO / ANSI / ARCH**：入力サイズ、出力サイズを定型サイズで指定します。SmartWorks MFP が自動で倍率を計算します。

- 枠のトリミング



- プリント時にスキャン画像の四辺を 3 mm 自動で切り取ります。画面に表示されるプレビュー画像には適用されませんがプリント時にこのマージンが削除されます。詳しくは[画像の端が切り取られるのを防ぐ方法](#)を参照してください。

- 印刷自動回転



- プリンターに搭載しているロール紙の画像の印字可能幅より画像の長辺側が短い場合に自動で画像を回転します。用紙の無駄を省くことができます。

トラブルシューティング

操作に関するよくある質問

スキャン開始のボタンを押しても、USB メモリーにスキャンデータが入らない

- USB メモリーがコントローラーに正常にマウントされてスキャン to USB のモードになっているかをご確認ください。USB メモリーが正しくフォーマットされていてスキャンに十分な空容量があることを確認して下さい。低めの解像度でスキャンするとデータサイズが小さくなります。

コピー開始のボタンを押してもコピーできない

- 選択したプリンターがオンライン上でコピーの準備ができていることを確認して下さい。

スキャン中、原稿がスムーズに搬送されず、途中で止まったりする

- 処理するデータ量に対し、読取りの処理が早すぎる可能性があります。幅広の原稿で画質を高品質に設定し、シャープニングなどの画像処理を同時に行っているときなどにこのような現象が見られます。これはスキャナーの故障ではありませんがスキャナーの速度を遅く設定し、スキャン処理をスムーズに行うことをお勧めします。([スキャナーの情報と設定を参照](#))

ヘルプが英語で表示される

- 英語で表示される場合は、[「使用する言語」の設定](#)で、「日本語」を指定して下さい。

スキャナーの自動サイズが正しく機能しない

- 原稿がスキャナーに搭載されるとスキャナーは原稿の先端をスキャンし、右端と左端を検知してその幅を測ります。
- 自動サイズの精度は原稿の種類に依存します。原稿によってはその両端を検知することが難しく、特に原稿の内容が原稿の端ぎりぎりまで描かれている場合、誤ったサイズを測定することがあります。
- スキャンガラスや原稿ホールドアップシステムが汚れていたり、スキャナーのキャリブレーションがされていなかった場合なども誤った原稿幅を検知する原因になります。スキャナーを清掃し、キャリブレーションを行ってください。キャリブレーションをする前に必ずスキャナーを清掃してください。[スキャナーオプションを参照してください](#)。
- 原稿の一方の端、または両端が最大読取り幅からはみ出すと、スキャナーのセンサーが原稿の端を検知できません。その場合、原稿サイズを「最大幅」に設定してください。スキャナーはスキャナーの最大幅をスキャンし、その後自動的に原稿長さを測定します。[コピー その他のオプションを参照してください](#)。

SmartWorks MFP がスキャナーに接続できない

- スキャナーユーティリティソフトウェアが実行されていないことを確認して下さい。一度に一つのソフトウェアがスキャナーと交信できます。SmartWorks MFP を起動する前にスキャナーユーティリティプログラムを停止してください。

ネットワークエラー

SmartWorks MFP とプリンターとの通信障害

- SmartWorks MFP ソフトウェアはプリンターとの定期的な通信を行い、プリンターのステータスを取得します。これはデフォルトで設定されています。この通信がネットワーク上で支障をきたす場合、「プリンターステータス」をオフにしてこの設定を解除することができます。
その場合、プリンターのステータスは下記の時にのみ取得します。
 - プログラムが開始した時
 - 緑のボタンが押されたとき
 - 更新ボタンが押されたとき

設定をオフにした場合、画面に表示されるプリンターのステータスは最新ではなくなります。

SmartWorks MFP がフリーズする

- SmartWorks MFP ソフトウェアはスキャンされた画像を指定されたフォルダーに保存します。ネットワーク上のリモート PC にあるフォルダーに画像を保存する場合、画像ファイルのサイズやネットワークの速度、または帯域幅によって保存にかかる時間が長くなる場合があります。
 - ネットワークモードをバッファ（デフォルト設定）に設定します。ソフトウェアはスキャンフォルダーの場所を確認します。フォルダーがネットワーク上のリモート PC にある場合、スキャンデータは SmartWorks MFP がインストールされている PC に一時的に保存されます。スキャンやプレビューでの編集が完了するとソフトウェアは「Please wait」のメッセージを表示し、全てのスキャンファイルをネットワーク上の PC に一括転送します。これにより実際のスキャンや画像編集作業がネットワークの状況に影響されることを回避できます。
- スキャンした画像データを保存するには時間がかかります。画像データが小さい程、短時間で保存することができます。下記の方法で画像のデータサイズを小さくすることができます（ファイルのサイズはおおよそです）：
 - 画質を低くする(dpi)
(例: A1 カラー-TIFF の場合、600dpi で 800MB、200dpi で 400MB、200dpi で 100MB)
 - TIFF の代わりに JPG か PDF ファイルフォーマットを使う
(例: A0 カラー TIFF の場合、600dpi で 800MB、JPG、PDF の場合 600dpi で 12MB)
 - JPG や PDF ファイルフォーマットのファイル圧縮を使用する
(例: A0 カラー JPG 600dpi の場合、50%圧縮で 12MB、20%圧縮で 8MB)

仕様

ソフトウェア	SmartWorks MFP V5
コントローラー	Windows 10 Enterprise LTSC CPU: Intel Celeron G3900TE 2.3GHz RAM: 4GB DDR4 HDD: SATA 500GB ディスプレイ: タッチパネル 15.6" 1366 x 768 コントローラー下面: USB3x3、USB2x1、ギガビットイーサネット x1 コントローラー前面: 電源スイッチ と USB3x1
最大スキャン長	8m (JPEG/PDF)、15.2m (TIFF)

最大スキャン長さはファイル形式やスキャンの解像度によって異なります。

最大スキャン長さ (インチ)								
DPI	100	200	300	400	600	800	1000	1200
JPEG	315	315	200	162	96	60	36	24
TIFF	600	600	395	200	96	60	36	24

最大スキャン長さ (メートル)								
DPI	100	200	300	400	600	800	1000	1200
JPEG	8.00	8.00	5.08	4.11	2.44	1.52	0.91	0.61
TIFF	15.24	15.24	10.03	5.08	2.44	1.52	0.91	0.61

*定型サイズの場合: A0、ANSI E/E+または ARCH E/E1、801dpi 以上の場合、DPI は自動で 800dpi に自動設定されます。

コピー設定時の最大コピー長さは、解像度の設定ごとに異なり、TIFF 形式と同じ長さとなります。

コピー&アーカイブ設定時の最大スキャン長さとコピー長さは、解像度の設定ごとに異なり、選択したファイル形式の長さとなります。

仕様は予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

用語集

ANSI	America National Standards Institute の略。用紙の定型サイズ。
ARCH	Architectural paper sizes の略。用紙の定型サイズ。
DPI	Dots per Inch の略でインチ内のスキャンやプリントのピクセル数。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略で IP アドレスを自動的に割り振るためのプロトコルです。
FAT32	File Allocation Table file system の略。Windows で採用しているファイルシステムの一つでメモリーに保存されているデータ構成を定義します。
ISO	International Organization for Standardization の略で用紙の定型サイズ。
IP アドレス	Internet Protocol アドレスの略。それぞれのデバイスがネットワーク上で認識されるために使う数字で作られたアドレス。
JPEG	Joint Photographic Experts Group ファイルフォーマットの略でデジタル画像用にデータ内容を少し削減して圧縮するデータ形式のこと。
マルチページ PDF	複数のファイルをそれぞれ別のページに保存し、1つの PDF ファイルにまとめたファイル。
MFP	Multi-Functional Printer/Product/Peripheral の略で、複数の機能を搭載した複合機のことを意味します。
PDF	Portable Document Format の略で ISO によって定義されているファイルフォーマット。スキャン画像は通常 JPEG ファイルに書き込まれます。
PDF/A	電子ドキュメントの長期保存用に特化したファイルフォーマット。
レンダリングインテント	一つの色空間(スキャナーの色空間)のカラーデータを別の色空間(プリンターの色空間)にマッピングすること。
STATIC IP アドレス	DHCP によって変更されないデバイスのインターネット固定 IP アドレス。
TIFF	Tagged Image File Format の略。Scan アプリでは画像をロスレス、非圧縮ファイルフォーマットに保存します。ファイルサイズが大きくなりますがデータロスはありません。
UI	ユーザーインターフェース - LCD ディスプレイとキーパッドからなる操作画面。
USB	Universal Serial Bus の略。
キャリブレーション	キャリブレーションはセンサーのピクセルの光学的な感度を調整し、白と黒を正しいレベルに戻します。
サブネットマスク	IP アドレスをネットワークアドレスとホストアドレスに分離します。サブネットマスクと IP アドレスはセットとして使われます。
白ポイント	このバーを増やすことで地肌をきれいにすることができます。白いエリアをより白くします。
黒ポイント	このバーを増やすことで画像の暗いエリアの濃さが増し、黒がより黒くなります。
ステッチ調整	それぞれのセンサーの継ぎ目を自動的に調整し、継ぎ目の前後、左右に起こるズレを補正します。